SBC i-Color Series

MULTI FUNCTION & FULL COLOR DISPLAY

POWER METER i-Color FLASH

INSTALLATION MANUAL

VOL.3

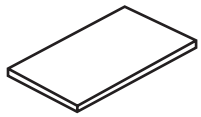
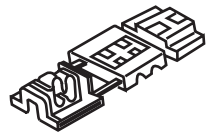
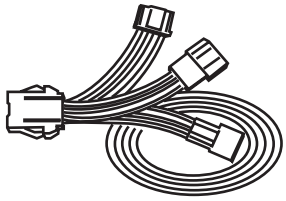
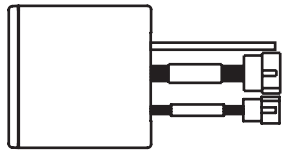
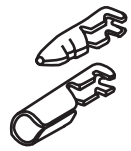
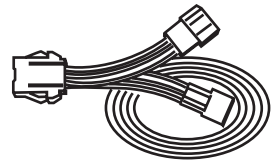
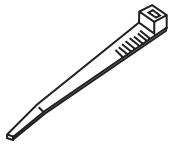
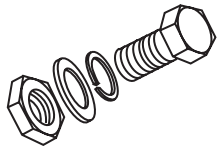
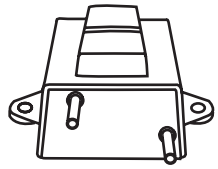
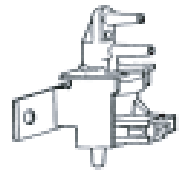
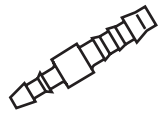
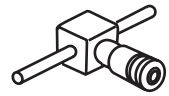
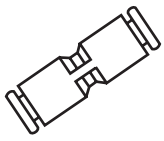
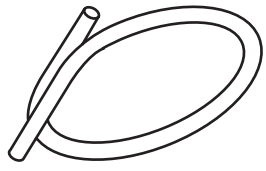
BLITZ

"BLITZ" —the abiility to innovate the motor vehicle boundaries.
Established in 1980,"BLITZ" has revolutionized the automotive industry

ー 目次 ー

- 目次 ―― ０１
- パーツリスト ―― ０２
- 注意事項 ―― ０３－０４
- 重要事項 ―― ０５－０７
- 配線方法 ―― ０８－０９
- 配管方法（基本） ―― １０－１２
- 配管方法（車種別） ―― １３－１７
- ＭＯＤＥ説明 ―― １８－２１
- ＭＯＤＥ遷移図 ―― ２２
- スイッチ操作方法 ―― ２３－２４
- 初期設定 ―― ２５－３２
- 走行抵抗補正係数 ―― ３３
- 故障と思う前に ―― ３４
- ＭＥＭＯ ―― ３５
- 保証書 ―― ３６－３７
- お問い合わせ先 ―― ３８

ー パーツリスト ー

			
カラー液晶ディスプレイ 1	両面テープＳＥＴ 1	エレクトロタップＳＥＴ 1	取扱説明書 1
			
㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＰＯＷＥＲ ＭＥＴＥＲのみ	㈱意）ＰＯＷＥＲ ＭＥＴＥＲのみ
中継ハーネス（ＳＢＣ用） 1	ＣＰＵユニット 1	ギボシセット（スリーブ付） 1	中継ハーネス 1
			
㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣ ＳｐｅｃＲのみ	※4Φ－6Φゴムアダプター付 ㈱意）ＳＢＣ ＳｐｅｃＳのみ
タイラップ 6	Ｍ6ボルトナットＳＥＴ 2	バルブユニット（Ｒ用） 1	バルブユニット（Ｓ用） 1
			
㈱意）ＳＢＣのみ ㈱意）ＳｐｅｃＳとＲではハーネス形状が異なります	㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ
メインハーネス 1	φ６スリーウェイ 1	φ4-φ6ストレートジョイント 2	ジョイントＴパイプ 1
			
㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ	㈱意）ＳＢＣのみ
ホースジョイントφ4用 1	φ6ホース 2m 1	φ4 ナイロンチューブ 2m 1	クレセントクランプφ6用 6

ー 注意事項 ー

■製品を安全にご使用いただくために『注意事項』を必ずお読みになり、よくご理解ください。

＊本製品はサーキットなどクローズドコースを走行する車両用に製造されています。ＳＢＣの機能をご利用いただくには、車両のパワーアップに付随する改造申請を各陸運支局で行ってください。改造申請を行わない状態で一般公道を走行する事は止めてください。
＊本書は、本製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
＊装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
＊お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
＊この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。

（表示項目の説明）

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中傷を負う可能性が想定される危険な状況及び物質損害の発生が想定される状況を示します。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

（換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。）
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
（本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けないでください。）
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
（本製品は、車両電源がＤＣ１２Ｖ車で車体[ボディ]アースの車両専用です。）
ＤＣ２４Ｖ又は１２Ｖ・２４Ｖ兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
（バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。）
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
（コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。）
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
（本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合は使用を中止し、販売店・弊社までお問い合せください。）
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
（運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。）
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
（本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。）
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。

ー 注意事項 ー

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中傷を負う可能性が想定される危険な状況及び物質損害の発生が想定される状況を示します。

（液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。）
６０℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊され黒くなる事があります。（冷蔵庫などで冷却すると復帰する場合があります）
（液晶表示画面について）
偏光サングラスを通して液晶表示画面を見ると、見る角度によっては画面が暗くなったり、歪んで見える事がありますのでご注意ください。
（液晶画面の明るさについて）
レーダー探知機等、無線電波を利用した装置の影響により、液晶画面の明るさが変化する場合があります。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中傷を負う可能性が想定される危険な状況及び物質損害の発生が想定される状況を示します。

（本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。）
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車両装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
（本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。）
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
（本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。）
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせて頂きます。
（高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。）
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
（エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。）
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
（定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。）
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
（取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。）
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
（ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。）
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
（本製品は純正車両を前提に企画されております。）
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が出たりする可能性があります。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

（排気バイパスの選択には十分に注意してください。）
アクチュエータ（スイングバルブ）タイプとウェストゲート（ポペットバルブ）タイプがあります。誤った選択はタービンやエンジン、車両自体の破損にも繋がり大変危険です。
（過給圧（ブースト）の上げすぎには注意してください。）
過給圧（ブースト）を上げ過ぎると、タービン・エンジンを破損する恐れがあります。過給圧の上げすぎによる不具合に関して、弊社は一切その責任を負いかねますので予めご了承ください。
（作動確認、ブースト設定は一般公道では絶対に行わないで下さい。）
円滑な道路交通の妨げになったり、事故を招く恐れがあります。
（車両/製品より異音/異臭等の異常が発生した場合、使用を中止し専門業者にて点検/整備を行ってください。）
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
（本製品の装着により車両本来の性能が損なわれている場合は、専門業者にて点検/整備を行ってください。）
そのままの状態で走行を続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。

ー 重要事項 ー

本製品を安全に且つ正しくお使いいただくために、本取扱説明書を必ずお読みになってから、
お取り付け／ご使用ください。また、本製品及び付属品以外の機器、及び外部機器接続による拡張機能に関しての説明は各機器の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス！
本書はＳＢＣｉ-Ｃｏｌｏｒ／ＰＯＷＥＲ ＭＥＴＥＲｉ-Ｃｏｌｏｒ共通の説明書です。
ＳＢＣとＰＯＷＥＲ ＭＥＴＥＲそれぞれ内容が重複する部分がありますのでご注意願います。
ＳＢＣに関する記述でブーストコントロールに関する記述以外はすべてＰＯＷＥＲ ＭＥＴＥＲと共通になっていますが、例外のある場合は各項目に補足として記述されている内容をご参照願います。

SBC について

本製品はターボチャージャーのブーストを任意にコントロールしエンジンの出力向上を図る装置です。
高性能小型ソレノイドバルブを最新のデジタル技術で制御することで、素早いブーストの立ち上がりと、
最小限のオーバーシュートで安定した設定ブーストを実現しています。

■製品の特徴

（シーケンシャルバルブ制御）※ＳｐｅｃＲのみ
２つのソレノイドバルブをそれぞれ別々の開度によって独立に開閉制御します。低開度域では主にバルブ１の開度が変化し、高開度域ではバルブ１，２両方の開度が変化します。

（フルオート機能）
希望のブースト値を入力すると自動的にそのブースト圧になるように学習（圧力補正）をはじめます。
学習が終了するとアナログメーター/２連デジタルメーターのＣＨマークが赤表示から白表示に変わります。
※学習中でもブーストコントロールは行いますが、ＭＡＰ機能／ＥＸＴ ＭＡＰ機能は使用できません。

（マニュアル機能）
設定ブースト圧を０から１００までのポイント制にしたマニュアル機能も搭載。学習不要で即ブースト制御を開始します。

（ＭＡＰ機能）
車速／エンジン回転数別のブースト設定が可能。あらゆる走りのステージに対応できます。

― 重要事項 ―

SBC／POWER METER 共通事項

■製品の特徴

（パワーメーター機能）
速度と車両重量の関係より実際にタイヤが路面に対して行う仕事量を演算し駆動馬力（トルクは馬力／回転数より算出）として表示します。よって、実際のエンジン単体での出力や各自動車メーカーが公表している数値（ネット馬力）とは異なる場合がありますが、実際にロードを走行して、エンジン単体の発生馬力に各種抵抗（転がり抵抗、空気抵抗、駆動ロス）を含めた値を駆動馬力として表示するので、よりリアルな値を確認できます。

（燃費計測機能）
瞬間燃費／平均燃費を測定表示。表示方法は、グラフ・デジタル（２連／６連）と用途に応じた選択が可能。他のデータとの比較により、セッティングやドライビングスタイルの検証に役立ちます。なお平均燃費は、ＩＧＮ-ＯＮしてからの燃費の平均値で、ＩＧＮ-ＯＮごとにデータはクリアされます。

アドバイス！

本製品は、インジェクタの噴射時間や満タン法による計算によって燃費を算出しているわけではありません。弊社独自の演算手法を用いて、車両の発生馬力より各種燃費を算出しております。よって、アイドリング時は燃費計算ができません。また、減速Ｇにより馬力がマイナス方向に振れる場合も燃料消費量が実際より誤差が生じます。あくまで目安であること、ならびに他の燃費計測機器とは計測／演算手法が異なることをご理解ください。

（モニタリング機能）

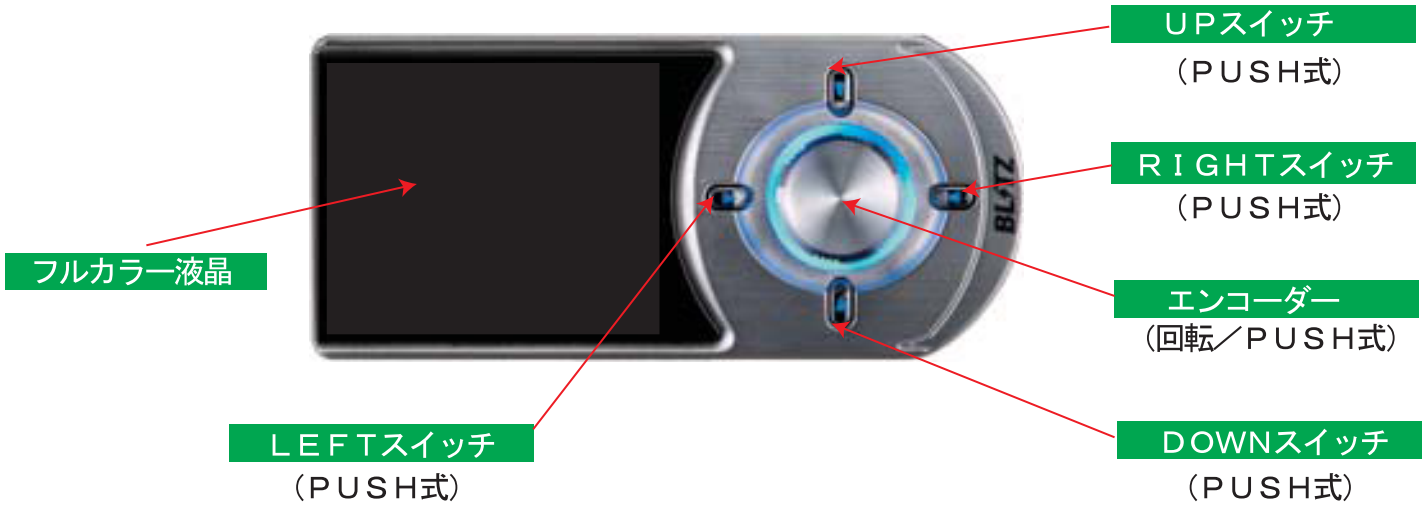
No	項目名	項目内容	表示単位		ﾒｰﾀｰ		ﾃﾞｼﾞﾀﾙ	ﾘｻﾞﾙﾄｸﾞﾗﾌ	経過ｸﾞﾗﾌ	ｼｬｼﾀﾞｲｸﾞﾗﾌ	A/Fｸﾞﾗﾌ	ﾌﾞｰｽﾄｸﾞﾗﾌ	記録再生	WARN
			SI	USA	ﾒｲﾝ	ｻﾌﾞ								
０１	SPEED	車両速度	km/h	MPH	○	○	○	―	―	―	―	―	○	○
０２	TACHO/REV	エンジン回転数	rpm	rpm	○	○	○	―	―	―	―	―	○	○
０３	POWER	馬力	PS, kW	PS, kW	○	○	○	○	○	○	―	―	○	○
０４	GasEq/MILEAGE	瞬間燃費	km/l	m/USG	○	○	○	―	―	―	―	―	○	―
０５	GasAv	平均燃費/区間平均燃費	km/l	m/USG	―	○	○	―	○	―	―	―	―	―
０６	TEMP	外部入力温度（TEMP SENSOR）	℃	℉	○	○	○	―	―	―	―	―	○	○
０７	AUX	外部入力電圧（PRESS SENSOR, A/F BOX）	任意	任意	―	○	○	○	―	―	○	―	○	○
０８	BLANK	項目非表示	―	―	―	○	○	○	―	―	―	―	○	―
０９	BOOST	ブースト圧（連成圧）	hkPa	PSI	○	○	○	○	○	―	―	○	○	○
１０	DATA1-3	外部電圧入力ハーネス値	任意	任意	―	○	○	○	―	―	○	―	○	○
１１	A/F	PRESS SENSOR, A/F BOX, DATA1-3 各値	―	―	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―
１２	FUEL PRESS	PRESS SENSOR, A/F BOX, DATA1-3 各値	hkPa	PSI	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―
１３	OIL PRESS	PRESS SENSOR, A/F BOX, DATA1-3 各値	hkPa	PSI	○	―	―	―	―	―	―	―	―	―
１４	TORQUE	トルク	kgm, Nm	kgm, Nm	―	―	―	○	―	○	―	―	―	―
１５	DIST	区間走行距離	m	yard	―	―	―	―	○	―	―	―	―	―
１６	GAS	区間燃料消費量	cc	mG	―	―	―	―	○	―	―	―	―	―

※ＢＯＯＳＴ／外部電圧入力ＤＡＴＡ１～３はＳＢＣｉ-Ｃｏｌｏｒのみの表示機能です。
※ＴＥＭＰ／ＡＵＸ（ＰＲＥＳＳ or Ａ/ＦＢＯＸ）／外部電圧入力ＤＡＴＡ１～３は、センサーもしくはハーネス類を別途購入する必要があります。
※ＴＥＭＰ／ＡＵＸの入力は、それぞれ１系統のみです。
※外部電圧入力ＤＡＴＡ１～３は３系統入力可能で、それぞれ０～１６Ｖの範囲で入力可能。
※本製品は計測データをデジタル化して表示している関係上、指針が振動しているように見えたり、デジタル表示数値が頻繁に変化したりする場合がありますが、異常ではありません。

ー 重要事項 ー

（フルカラー６５．０００色）
フルカラーディスプレイが可能にした驚異のグラフィックスはデジタルからアナログメータ表示、グラフ表示と多彩なバリエーションと演出を可能にし、面盤色や一部数値、背景画像など思いのままに変更ができます。

（マルチアングルディスプレイ機能）
液晶画面の表示方法は右／左／縦の３通りに設定が可能で、設定に従いスイッチ操作の位置関係もオートで切り替わります。



※各スイッチの操作方法は”スイッチ操作方法”をご覧ください。

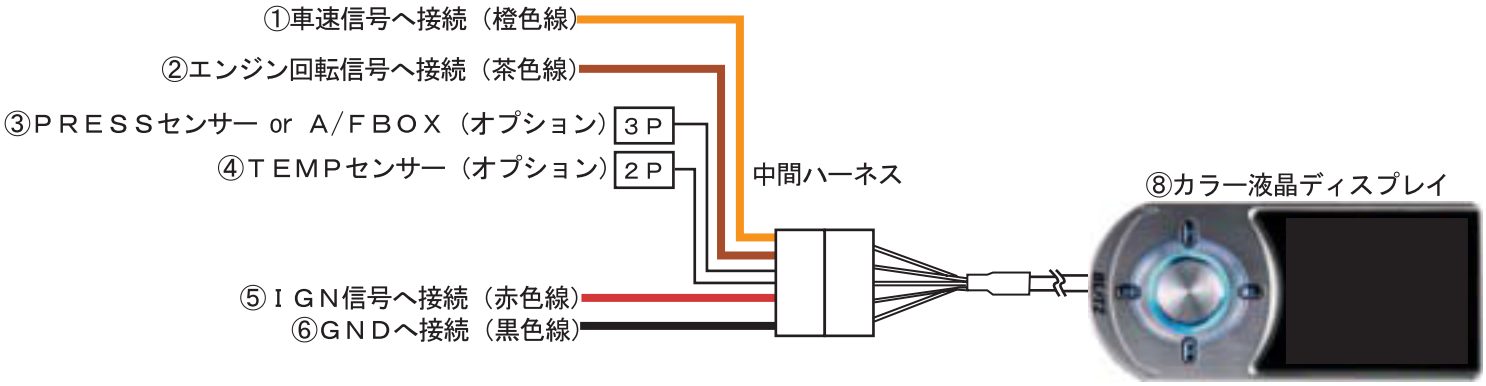
（便利機能）
ピーク表示／ワーニング設定／レコード＆リプレイ機能／表示単位変換／バックライト調整／ディマー機能／コントラスト調整／英語・日本語切替機能など便利機能は満載。

（最新車両の車速／エンジン回転信号に対応）
最新車両の高周波パルスにも対応。幅広い車種への取り付けが可能。
※一部車種（ＢＮＲ３２／ＨＣＲ３２／ＥＰ８２／ＪＺＡ７０／Ｌ８８０Ｋ 等）で、車両個体差（信号ラインの劣化等が原因）により信号ラインにノイズが入り、信号情報を正常に表示できない場合があります。

ー 配線方法 ー

■下図及びＥＣＵ配線図集をもとに配線作業をおこなってください。
※最新のＥＣＵ配線図集は、弊社ホームページ（http://www.blitz.co.jp）よりダウンロードが可能です。
※本製品は車種別専用品ではありません。ＥＣＵ配線図集に記載されていない車種へ取り付ける場合は、各自動車メーカーへお問い合わせ願います。ＥＣＵ配線図集に記載されていない車種の配線情報等は、弊社ではお答えしかねます。

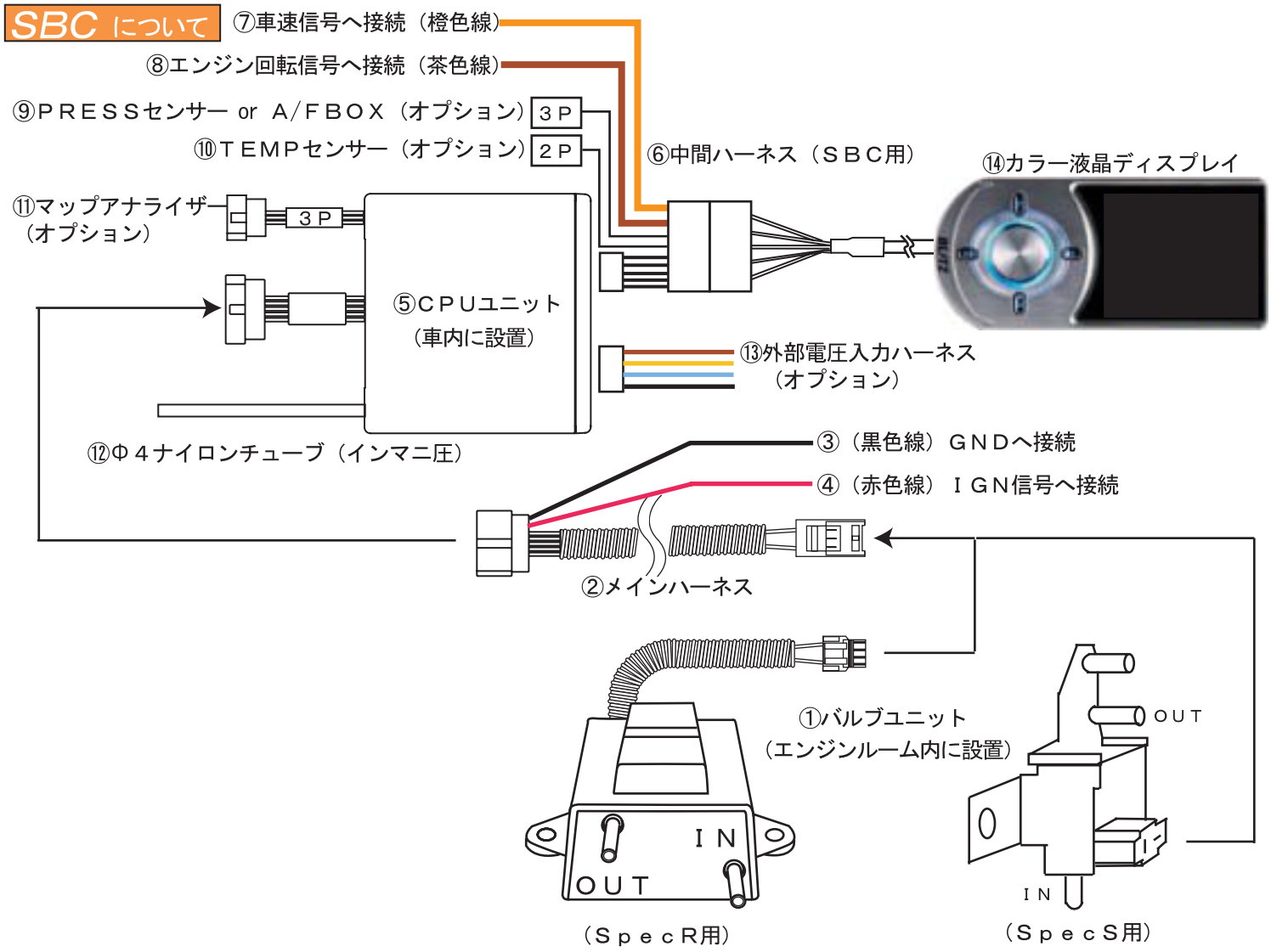
POWER METER について



①中間ハーネスの橙色線をＥＣＵの車速信号線へ接続してください。
②中間ハーネスの茶色線をＥＣＵのエンジン回転信号線へ接続してください。
③オプションのＰＲＥＳＳセンサーもしくはＡ/ＦＢＯＸを使用する場合は、中間ハーネスの３Ｐコネクタに接続してください。
④オプションのＴＥＭＰセンサーを使用する場合は、中間ハーネスの２Ｐコネクタに接続してください。
⑤中間ハーネスの赤色線をＥＣＵのＩＧＮ信号線へ接続してください。
⑥中間ハーネスの黒色線をＥＣＵのＧＮＤ信号線へ接続してください。
⑦カラー液晶ディスプレイを中間ハーネスと接続し、車内で運転の妨げにならず熱の影響が少ない場所に付属の両面テープで固定してください。

※ＳＢＣｉ-Ｄシリーズへ ＰＯＷＥＲ ＭＥＴＥＲを接続して、ＳＢＣｉ-ＣｏｌｏｒへバージョンＵＰする場合は、オプションの中継ハーネス（ＳＢＣ用）が必要です。接続方法は次項の配線方法（ＳＢＣについて）をご覧ください。機能等はＳＢＣｉ-Ｃｏｌｏｒのものになりますので、ブーストの学習値や表示に関しては全てｈｋｐａに強制変換されます。

ー 配線方法 ー

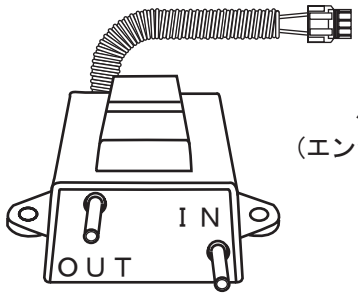


①バルブユニットをエンジンルームに設置してください。熱/水分の影響が少なく、バルブユニット～タービン間の配管が極力短くなる位置に設置してください。
②バルブユニットとメインハーネスを接続後、メインハーネスを車内に引き込み、ＣＰＵユニットと接続してください。
③メインハーネスの黒色線をＥＣＵのＧＮＤ線へ接続してください。
④メインハーネスの赤色線をＥＣＵのＩＧＮ信号線へ接続してください。
⑤ＣＰＵユニットを車内で、運転の妨げにならず熱の影響が少ない場所に付属の両面テープで固定してください。
⑥中間ハーネスをＣＰＵユニットに接続してください。
⑦中間ハーネスの橙色線をＥＣＵの車速信号線へ接続してください。
⑧中間ハーネスの茶色線をＥＣＵのエンジン回転信号線へ接続してください。
⑨オプションのＰＲＥＳＳセンサーもしくはＡ/ＦＢＯＸを使用する場合は、中間ハーネスの３Ｐコネクタに接続してください。
⑩オプションのＴＥＭＰセンサーを使用する場合は、中間ハーネスの２Ｐコネクタに接続してください。
⑪オプションのマップアナライザーを使用する場合は、ＣＰＵユニットの３Ｐハーネスに接続してください。
⑫付属のジョイントＴパイプとΦ４ナイロンチューブ、φ４ホースジョイントを使用しエンジンルーム内のサージタンク（負圧から最大ブースト圧まで全ての圧力を検出出来る所）よりフィードバック用の圧力をＣＰＵユニットのφ４ナイロンチューブに入力してください。ナイロンチューブの接続はΦ４ホースジョイント用を使って接続して下さい。ナイロンチューブを室内へ配管する際は折れ曲がったり、潰れたりしないよう注意して下さい。
⑬オプションの外部電圧入力ハーネスを使用する場合は、ＣＰＵユニットに接続してください。
⑭カラー液晶ディスプレイを中間ハーネスと接続し、車内で運転の妨げにならず熱の影響が少ない場所に付属の両面テープで固定してください。

ー 配管方法（基本）ー

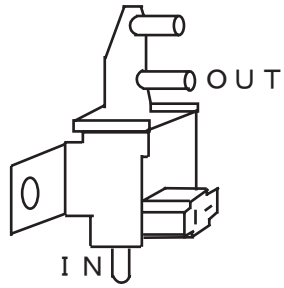
アドバイス！

配管が長くなり過ぎると、応答遅れの原因となりハンチングやオーバーシュートが発生しやすくなります。
また、純正のソレノイドバルブのコネクタを抜くと車両によってはエンジンチェックが点灯する場合があります。その場合はコネクタを抜かないでください。



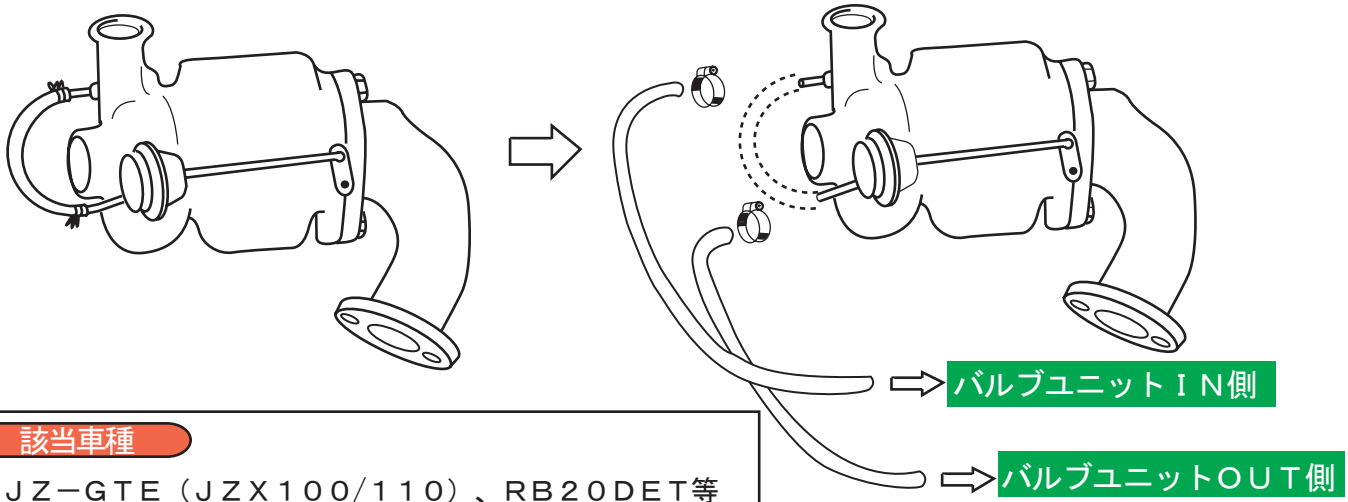
（ＳｐｅｃＲ用）

バルブユニット
（エンジンルーム内に設置）



（ＳｐｅｃＳ用）

①アクチュエータタイプの場合（シングルターボ基本）

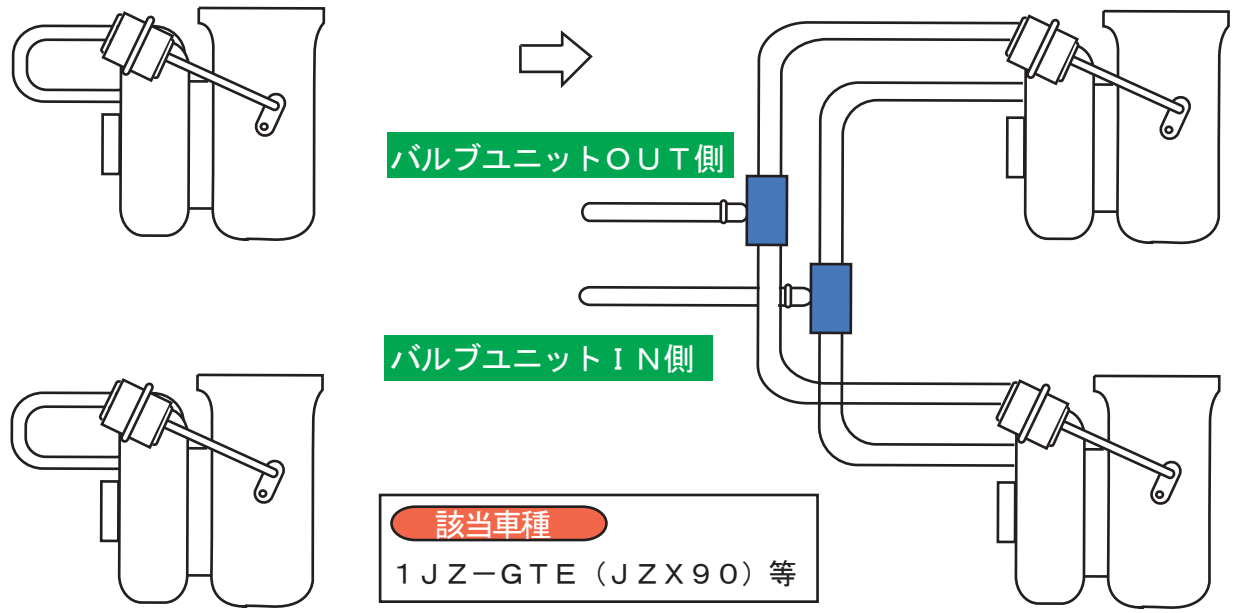


該当車種

１ＪＺ−ＧＴＥ（ＪＺＸ１００/１１０）、ＲＢ２０ＤＥＴ等

②アクチュエータタイプの場合（ツインターボ基本）

※取り付けには、別途ツインターボアダプターキット（品番１４０２６　￥３，１５０）が必要になります。



該当車種

１ＪＺ−ＧＴＥ（ＪＺＸ９０）等

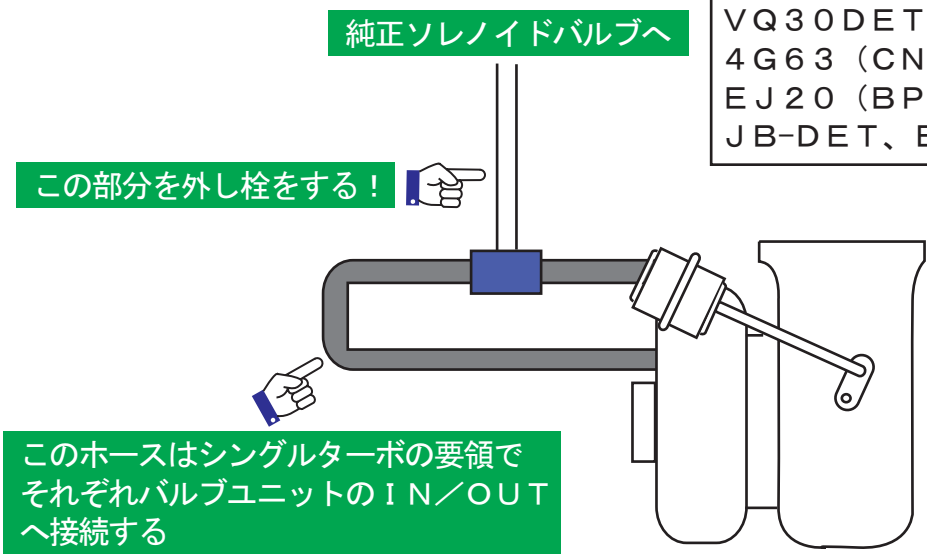
ー 配管方法（基本）ー

③アクチュエータタイプの場合（純正ソレノイドコントロール方式）

※純正ソレノイドバルブコントロール方式の場合は、下記の図のようにソレノイドバルブに行く配管を外し、プラグを使用して栓をして下さい。又ソレノイドバルブからサクションパイプ側に戻してある場合はサクションパイプ側にも同様に栓をして下さい

該当車種

ＳＲ２０ＤＥＴ、ＲＢ２５ＤＥＴ
ＶＱ３０ＤＥＴ、ＶＱ２５ＤＥＴ
４Ｇ６３（ＣＮ９Ａ/ＣＰ９Ａ/ＣＴ９Ａ/ＣＺ４Ａ）
ＥＪ２０（ＢＰ５/ＢＬ５/ＧＤＢ/ＧＨ８/ＧＲＢ）
ＪＢ-ＤＥＴ、ＥＦ-ＤＥＴ等

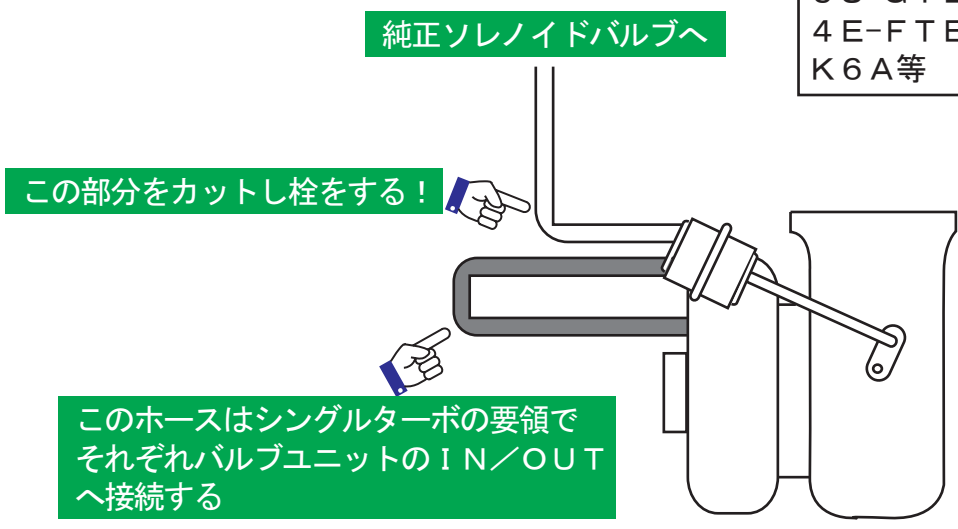


④アクチュエータタイプの場合（２モードコントロール方式）

※２モードコントロール方式の場合は、下記の図のように純正ソレノイドバルブに行く配管を外してアクチュエーター側、ソレノイド側それぞれ個別にプラグを使用して栓をして下さい。

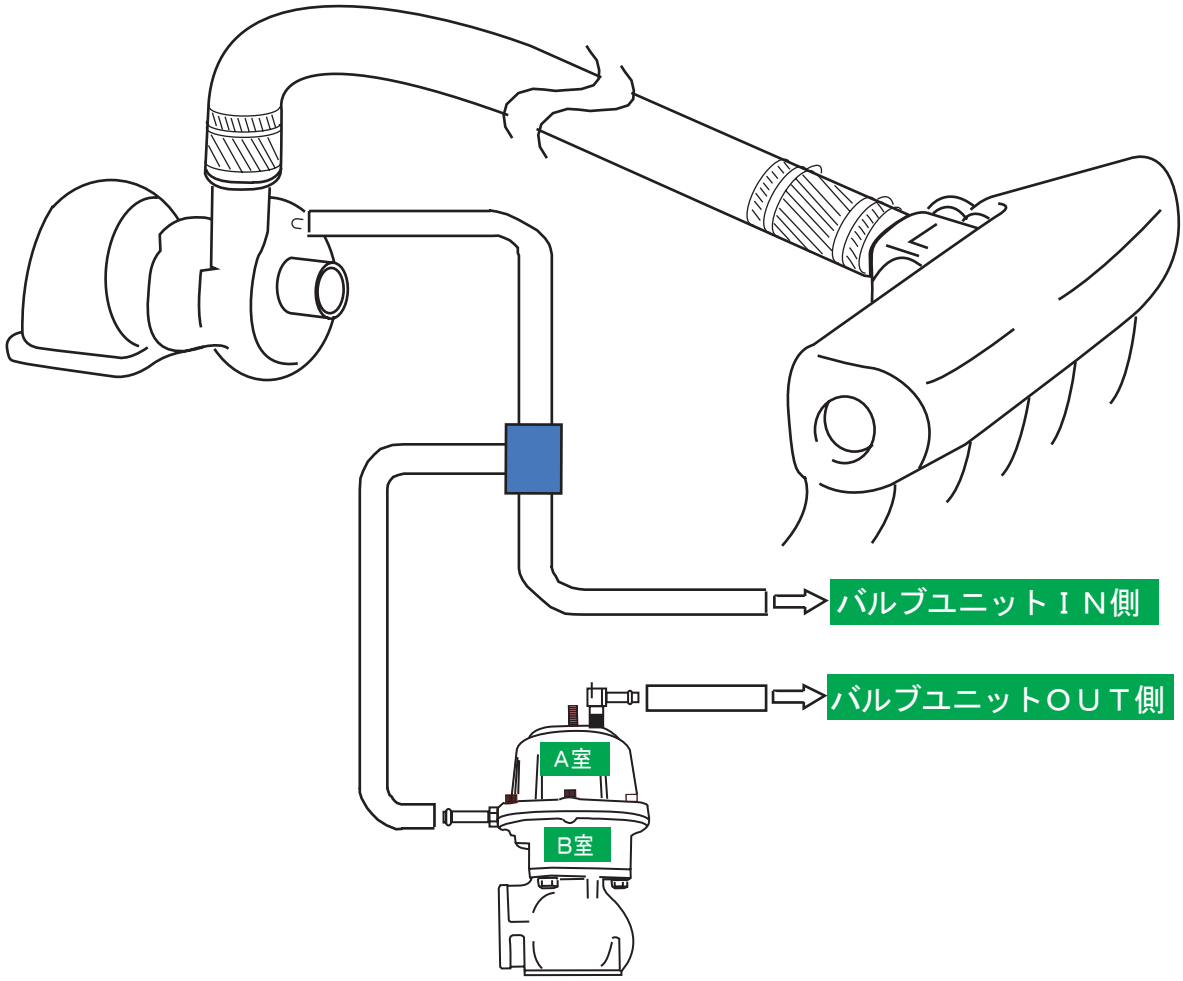
該当車種

３Ｓ-ＧＴＥ（ＳＴ２１５/ＳＴ２４６Ｗ）
４Ｅ-ＦＴＥ（ＥＰ８２/ＥＰ９１）
Ｋ６Ａ等



ー 配管方法（基本）ー

⑤ウエストゲートタイプの場合



ー 配管方法（車種別）ー

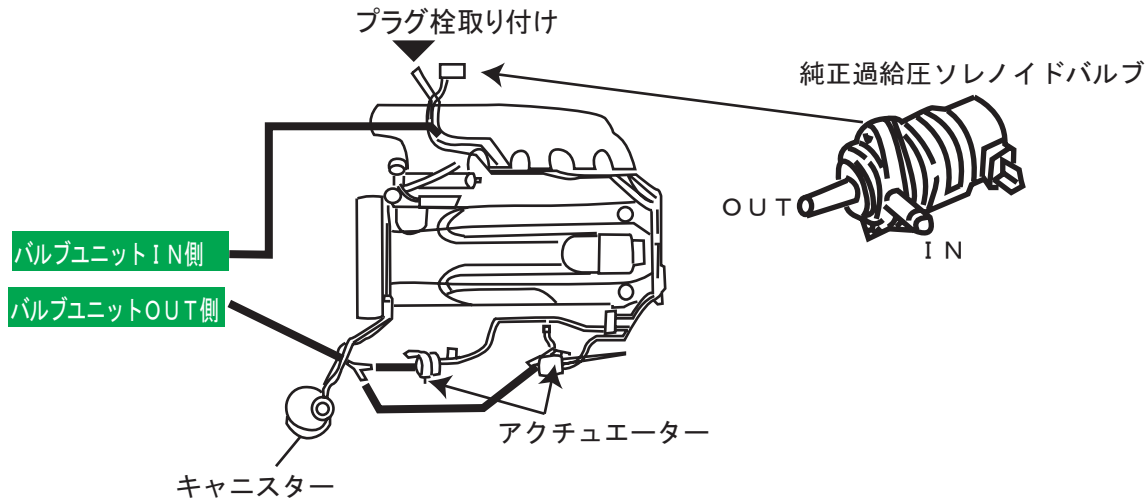
■２ＪＺ－ＧＴＥ

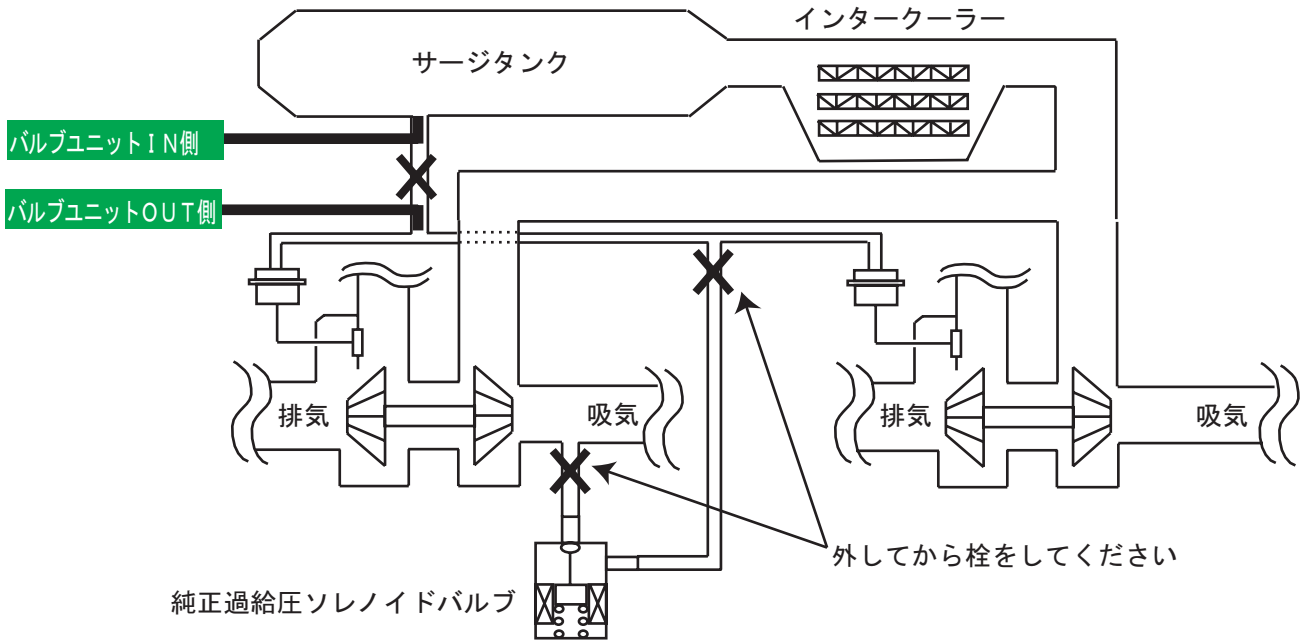
①基本配管方法④をご参照ください。
②車両フロント側プライマリーターボチャージャーのアクチュエーターから２本配管が出ています。
　純正の過給圧コントロールソレノイドバルブに配管されている方をカットし栓をしてください。
③アクチュエーターからターボのコンプレッサーカバーに繋がるもう一方の配管を取り外しコンプレッサーから
　バルブユニットのＩＮ側に配管し、アクチュエーターからバルブユニットのＯＵＴ側に配管してください。

※プライマリーターボチャージャー（サブ側）／セカンダリーターボチャージャー（メイン側）

■ＲＢ２６ＤＥＴＴ

①純正過給圧コントロールソレノイドバルブの２本の配管の内、下図ＩＮ側の配管を外し付属のホースで
　バルブユニットのＩＮ側へ配管してください。もう一方のＯＵＴ側の配管は
　純正過給圧コントロールソレノイドバルブから外し、栓をしてください。
②２つのターボチャージャーのアクチュエーターの配管を外し、栓をしてください。
　その後、それぞれのアクチュエーターから配管を引き直し、付属の３ＷＡＹで一つにまとめてバルブユニット
　のＯＵＴ側へ配管してください。

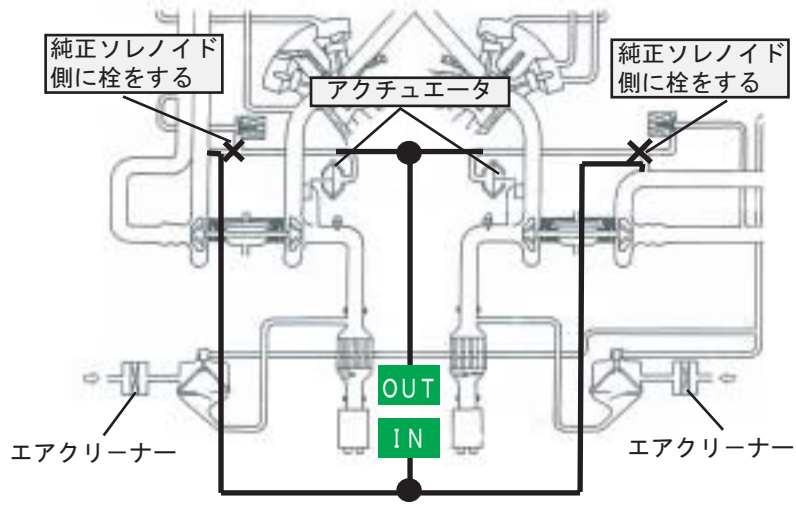




ー 配管方法（車種別）ー

■ＶＧ３０ＤＥＴＴ

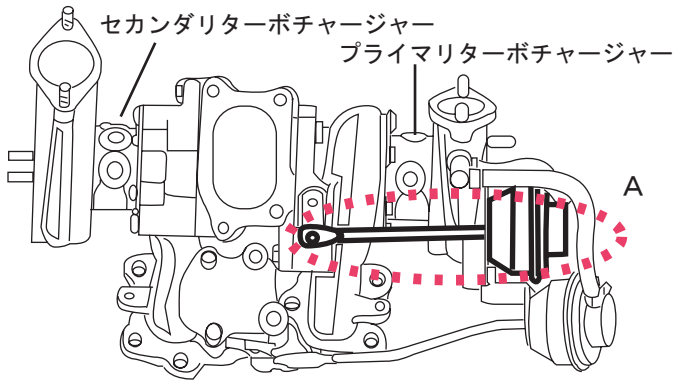
①２つのターボチャージャーにそれぞれ付属しているアクチュエータ～コンプレッサーカバー間の配管を外して下さい。
②それぞれのアクチュエータから付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して１本にまとめてバルブユニットのＯＵＴ側へ配管して下さい。
③コンプレッサーカバー部から付属のホースを使用して配管を引き、スリーウェイを使用して１本にまとめてバルブユニットのＩＮ側へ配管して下さい。
④それぞれの純正ソレノイドバルブにつながる配管に栓をしてください。

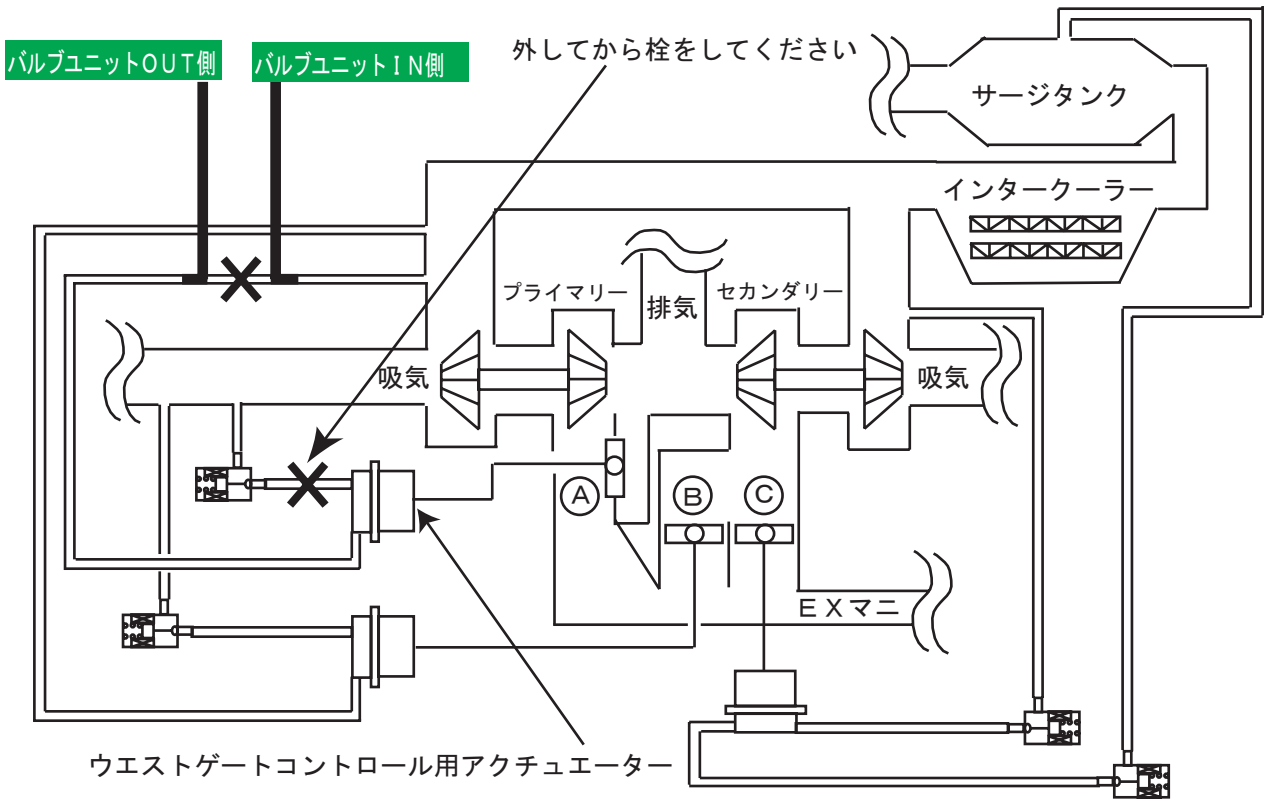


ー 配管方法（車種別）ー

■１３Ｂ－ＲＥＷ（ＦＤ３Ｓ）

①純正エアクリーナーＢＯＸを取り外してください。
②車両フロント側のプライマリーターボチャージャーの下に２つアクチュエーターが縦に並んでいます。
上側のウェストゲートコントロール用アクチュエーター（図中Ａ）に２本の配管があり、まずコンプレッサーに繋がっている配管を外しコンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側へ、アクチュエーターからバルブユニットのＯＵＴ側へ配管してください。
③次にウェストゲートコントロールアクチュエーターから出ているもう一方の配管（ソレノイドバルブに繋がる配管）をカットして栓をしてください。

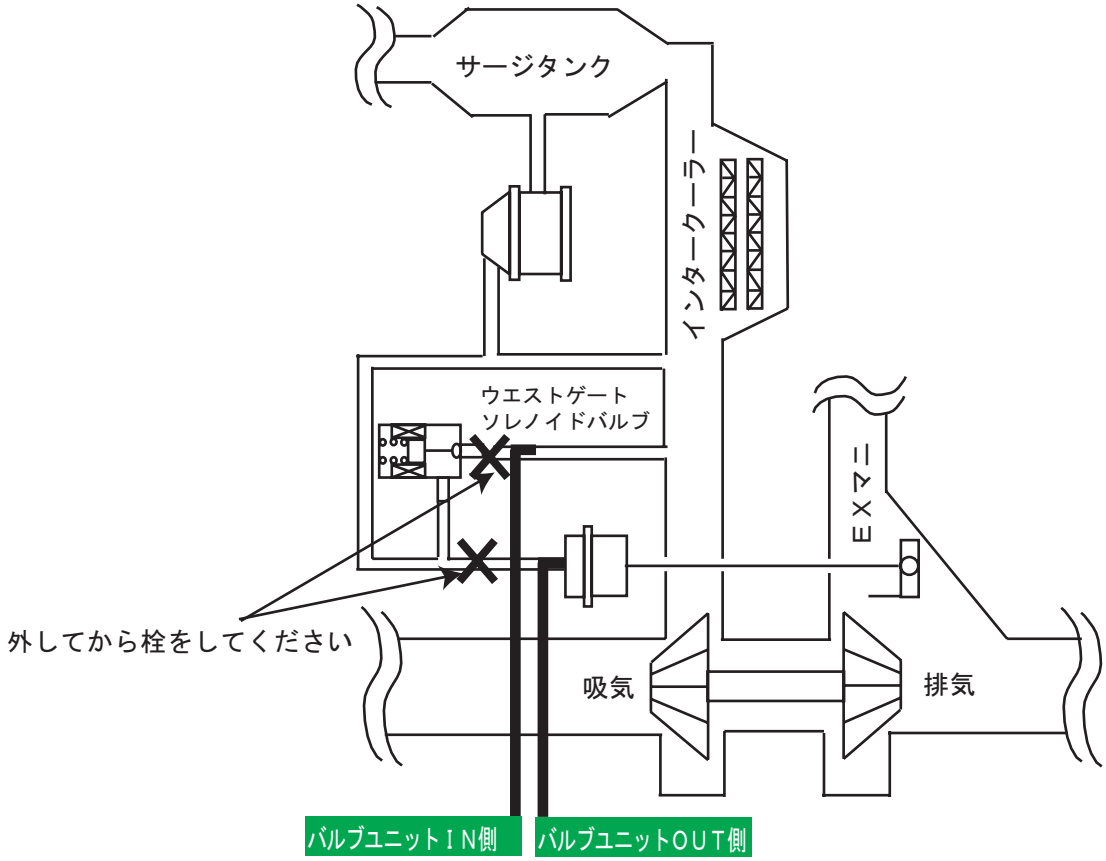




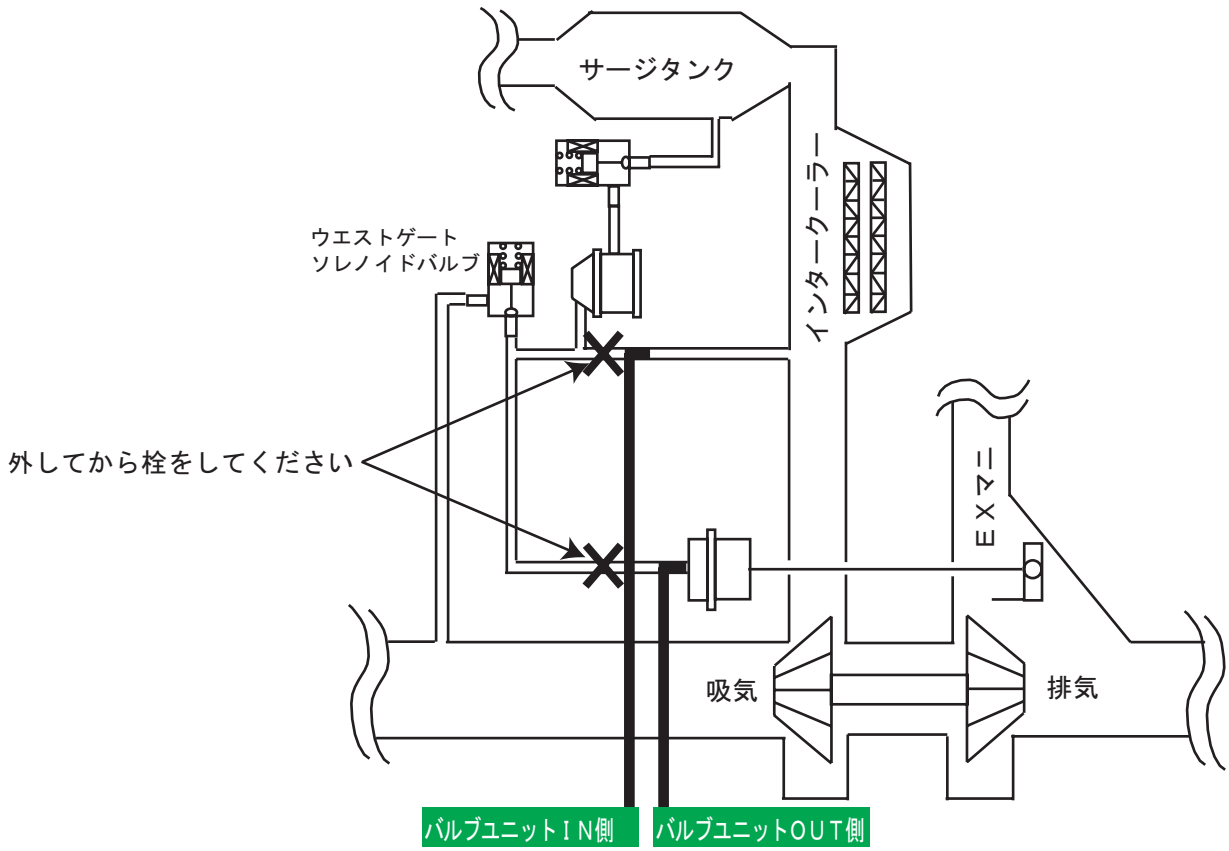
※バルブＡは過給圧制御用、バルブＢは中/高回転域で開き、バルブＣは高回転域で開きます。

ー 配管方法（車種別）ー

■３Ｂ２０（ＨＡ１Ｗ）



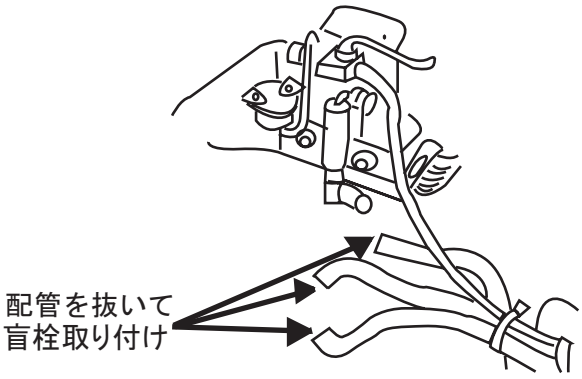
■３Ｇ８３（Ｈ８２Ｗ）

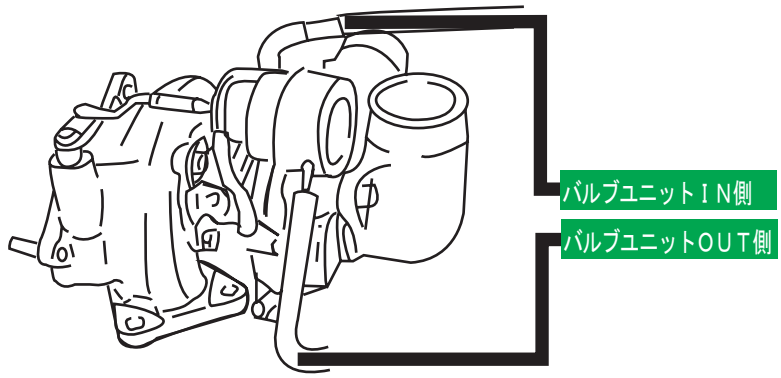


ー 配管方法（車種別）ー

■ＥＪ２０（ＧＣ８/ＧＦ８）

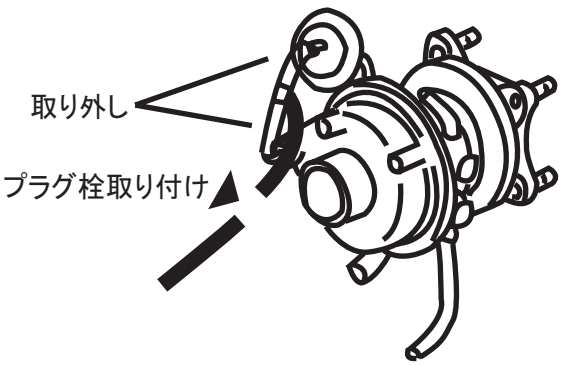
①車両右側ストラット脇の過給圧コントロールソレノイドバルブから３本の配管全てを抜き、それぞれプラグ等を使用して栓をしてください。
②ターボチャージャーのコンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側へ配管し、バルブユニットのＯＵＴ側からアクチュエーターに配管してください。

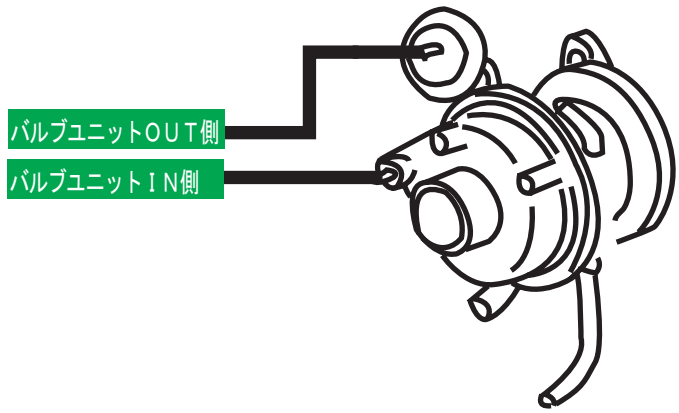




■ＥＪ２０（ＢＧ５/ＢＨ５）

①エンジン左側プライマリーターボチャージャーのコンプレッサーとアクチュエーターを繋ぐ配管を取り外してください。中間に過給圧コントロールソレノイドへの３ＷＡＹがありますが一緒に取り外してください。
②取り外した３ＷＡＹから出ている過給圧コントロールソレノイドに繋がる配管に栓をし、コンプレッサーからバルブユニットのＩＮ側に、アクチュエーターからバルブユニットのＯＵＴ側に配管してください。





－ＭＯＤＥ説明－

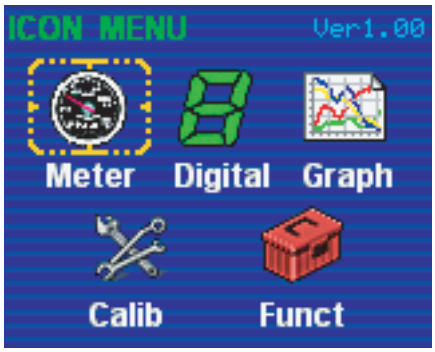
アドバイス！

①本書は英語表記/SI単位/馬力単位PSを基準に製作しております。
②本書の画面表示は説明用に加工している場合があります。製品の画面表示とは若干異なる場合があります。
③POWER METERの場合、ブーストに関する項目がありませんので、ご注意ください。
④本製品は予告なくソフトウェアをバージョンUP致します。その場合、本書の内容と異なる場合があります。

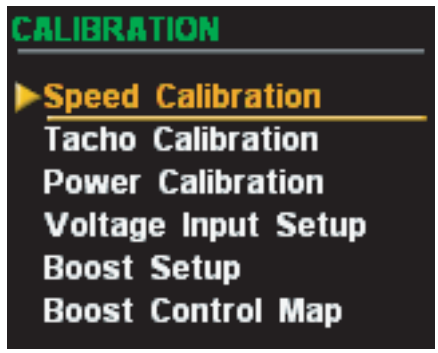
①デモンストレーションモード
※表示方向はNOR固定です。

	SBC i-Color	POWER METER
ON	UPを押しながらIGN-ON	UP+ｴﾝｺｰﾀﾞｰを押しながらIGN-ON
OFF	DOWNを押しながらIGN-ON	DOWNを押しながらIGN-ON

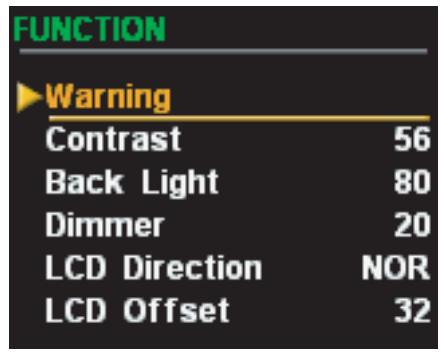
②ICON MENU/Calib/Funct



（１）ICON MENU
各メニューへ移動します。



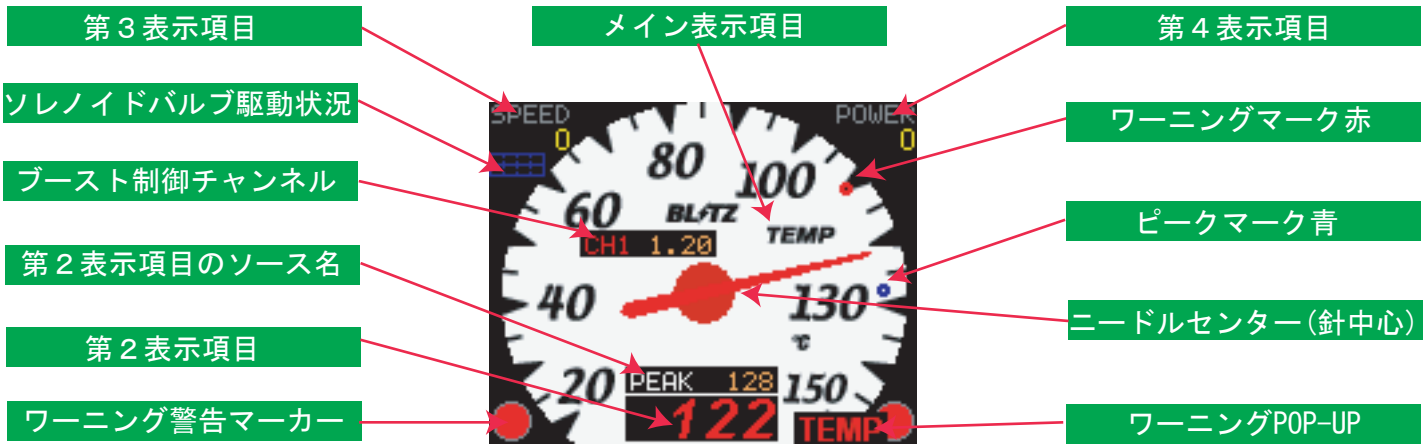
（２）Calib
入力信号の表示設定をおこないます。



（３）Funct
各種設定をおこないます。

③Meter

アナログメーターメニューです。各データをアナログ表示し、面盤の色も変更できます。



ホワイト

ブラック

カーボン

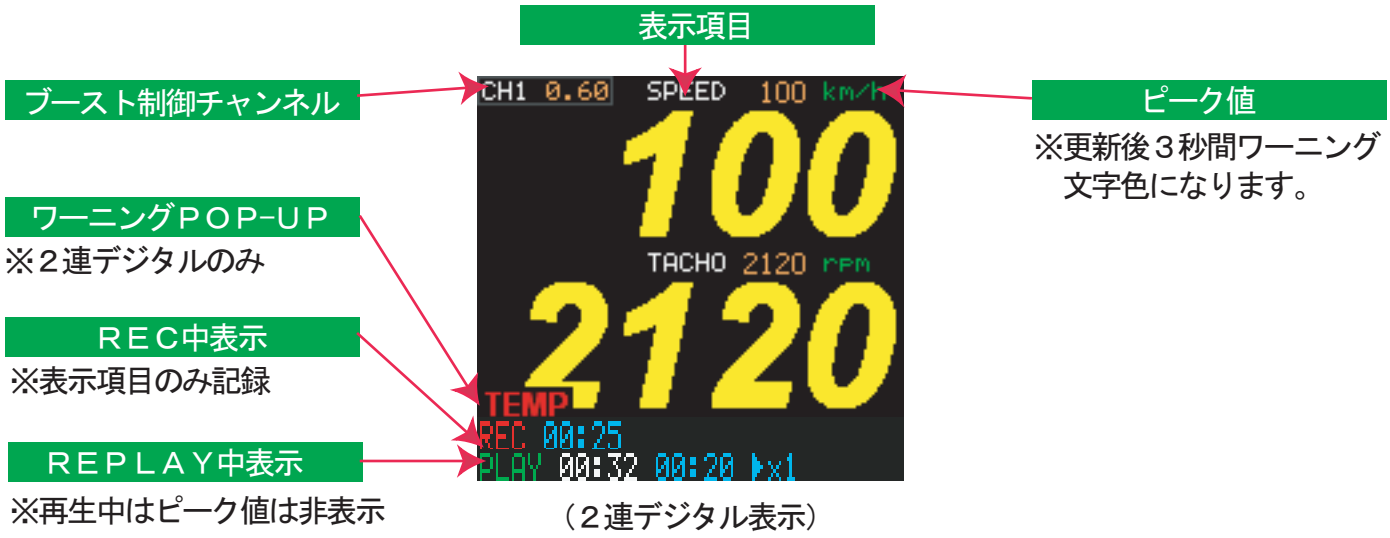
ブルー

アドバイス！

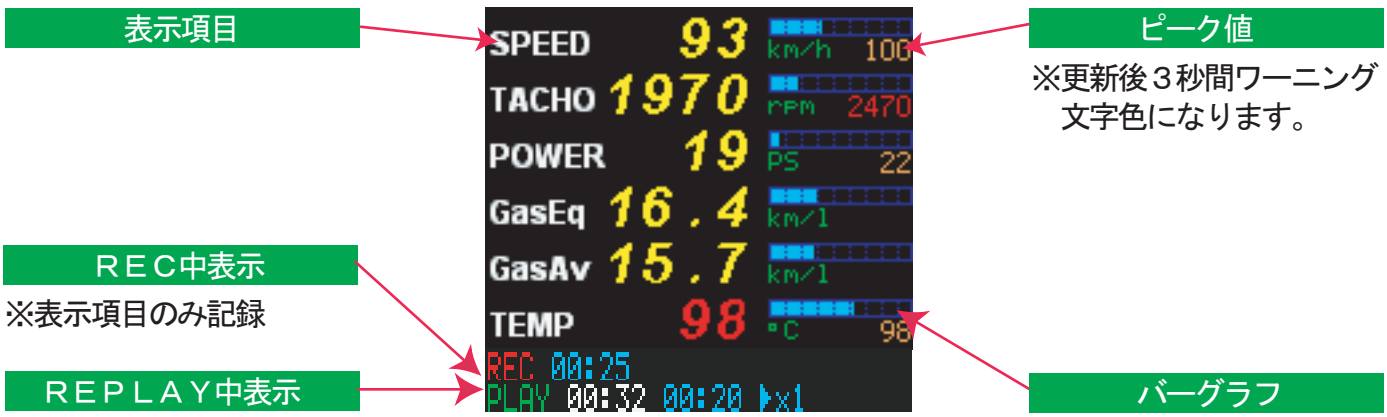
（ワーニング）メイン表示項目がワーニング領域に入ると、ニードルセンターが赤く表示されます。
（ピークマーク）ピークマークは、デジタル表示値よりも小さい桁まで反映させているため、デジタル表示値との表示ズレが生じる場合があります。
（ワーニングマーク）ワーニングマークはデジタル表示値をそのまま反映した位置に表示されますが、画像処理の関係上、目盛りから１ドット程度ズレたように見える場合があります。

④Ｄｉｇｉｔａｌ

デジタルメーター（２連／６連）メニューです。各データをデジタル表示し、背景も変更できます。



（２連デジタル表示）



（６連デジタル表示）

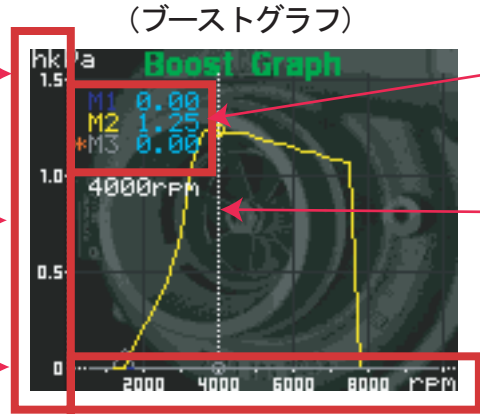
アドバイス！

（ＲＥＣ機能について）

・最大１０分間（表示項目数により変動します）の記録が可能です。
・サンプリング間隔は０．２秒です。
・記録データは、再記録（上書き）もしくはＩＧＮ ＯＦＦによってクリアされます。

⑤Ｇｒａｐｈ

（ブーストグラフ）



縦スケールは変更可能

ＭＡＸ２．５ｈｋＰａ

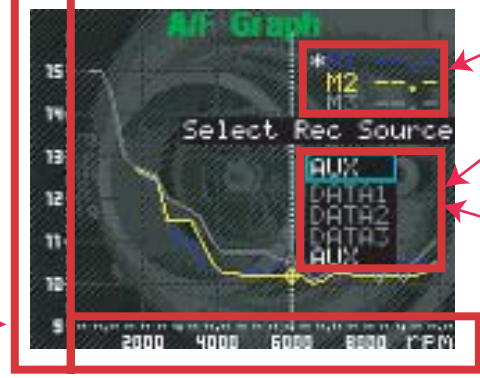
単位は単位系の設定に依存

記録メモリ（Ｍ１～３）

カーソル

横軸固定

（Ａ/Ｆグラフ）



記録メモリ（Ｍ１～３）

記録ソース選択可

ＡＵＸ/ＤＡＴＡ１～３

※パワーメーターはＡＵＸ固定

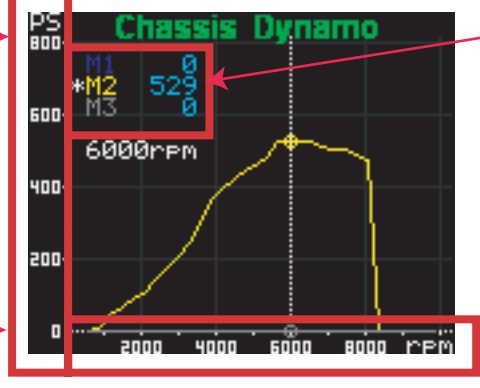
縦軸固定

横軸固定

アドバイス！

Ａ/Ｆグラフは電圧計測値表示グラフですが、縦軸が固定のため、使用する際は電圧入力設定を事前におこなってください。

（シャーシダイナモ）



ＰＳ/ｋＷ/ｋｇｍ/Ｎｍ

縦スケールは変更可能

記録メモリ（Ｍ１～３）

横軸固定

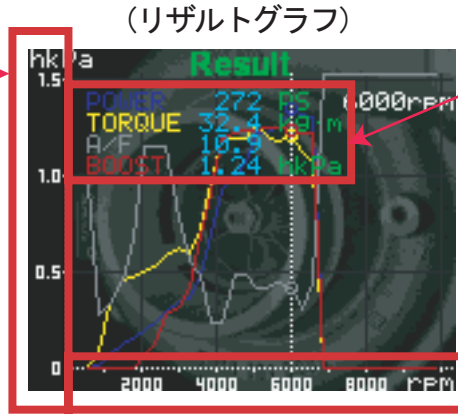
アドバイス！

単位を変更することにより、パワーグラフ/トルクグラフの切り替えができます。

ー ＭＯＤＥ説明 ー

（リザルトグラフ）

縦スケールは変更可能



記録メモリ（各Ｍ１～３）

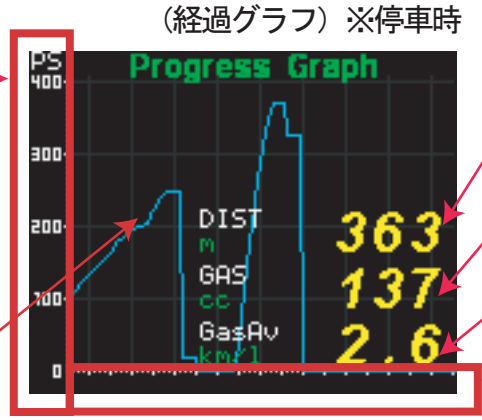
横軸固定

アドバイス！

リザルトグラフはシャーシーダイナモ／Ａ/Ｆグラフ／ＢＯＯＳＴグラフの比較計測グラフです。各グラフで計測中のメモリＮｏをリザルトグラフの表示メモリにて選択してください。また、縦軸は表示メモリのデータを最後に更新したソースのスケール/単位が採用されます。
グラフ波形の消去は、”ＦＵＮＣＴＩＯＮのＡｌｌ Ｇｒａｐｈ Ｍｅｍｏｒｙ Ｃｌｅａｒ”を実行するか、各シャーシーダイナモ／Ａ/Ｆグラフ／ＢＯＯＳＴグラフの記録メモリを個別消去することで、実行できます。

（経過グラフ）※停車時

単位スケール変更可能



区間走行距離
※区間：走行開始～停車間

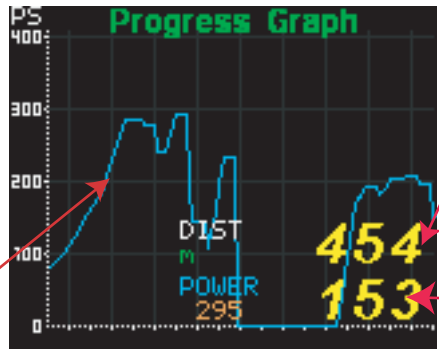
区間燃料消費量

区間燃費

横軸経過時間固定

経過波形（馬力）
※ＳＢＣはブーストも表示されます。

（経過グラフ）※走行時（車速入力時 or ブースト正圧時[ＳＢＣのみ]）



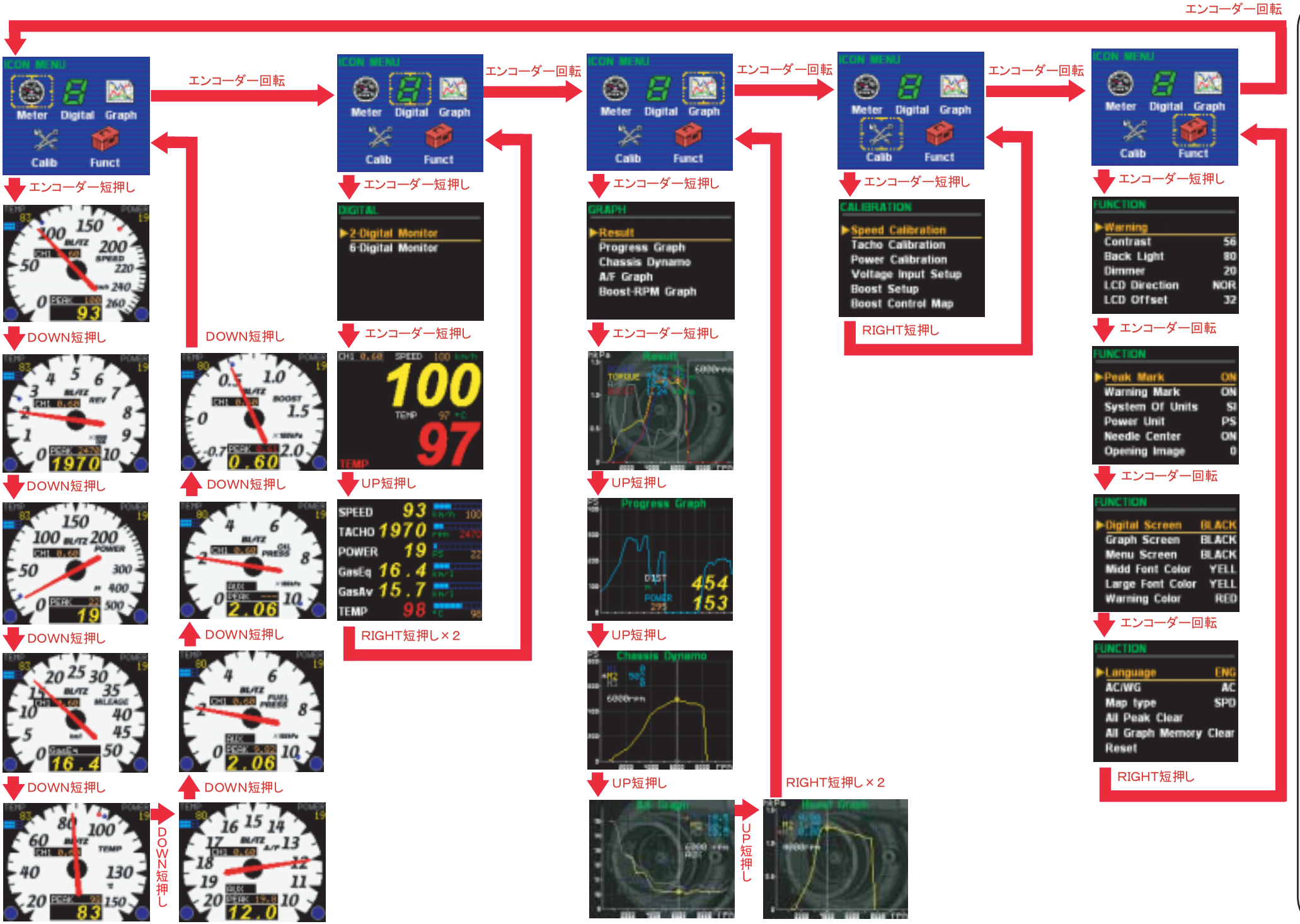
経過距離
※ＳＢＣはブーストも表示されます。

馬力

経過波形（馬力）
※ＳＢＣはブーストも表示されます。

アドバイス！

スケールは、リザルトグラフの表示メモリのＰＯＷＥＲもしくはＢＯＯＳＴで最終変更されたものが採用されます。単位に関しては、ファンクションメニューの単位系／馬力単位の設定内容が採用されます。


エンコーダー回転
ICON MENU
Meter
Digital
Graph
Calib
Funct
エンコーダー短押し
DOWN短押し
UP短押し
RIGHT短押し
RIGHT短押し×2
UP短押し
DIGITAL
2-Digital Monitor
6-Digital Monitor
GRAPH
Result
Progress Graph
Chassis Dynamo
A/F Graph
Boost-RPM Graph
CALIBRATION
Speed Calibration
Tacho Calibration
Power Calibration
Voltage Input Setup
Boost Setup
Boost Control Map
FUNCTION
Warning
Contrast 56
Back Light 80
Dimmer 20
LCD Direction NOR
LCD Offset 32
Peak Mark ON
Warning Mark ON
System Of Units SI
Power Unit PS
Needle Center ON
Opening Image 0
Digital Screen BLACK
Graph Screen BLACK
Menu Screen BLACK
Midd Font Color YELL
Large Font Color YELL
Warning Color RED
Language ENG
A/F/WG A/F
Map type SPD
All Peak Clear
All Graph Memory Clear
Reset

操作 / 画面	UPスイッチ		DOWNスイッチ		LEFTスイッチ		RIGHTスイッチ		エンコーダースイッチ		エンコーダー回転	その他
	短押し	長押し	短押し	長押し	短押し	長押し	短押し	長押し	短押し	長押し		
（アイコンメニュー）	ショートカット	ショートカット	ショートカット	ショートカット	ディマー切替		ショートカット	ショートカット	選択中のアイコン確定		アイコン選択	
（針メーター）	ショートカット	ショートカット	メーター種類順送り	メーター種類逆送り	ディマー切替	ピーク値クリア	アイコンメニューへ戻る		第2項目変更モードへ移動		メーター盤面の変更	
第2項目変更モード			メーター種類順送り	メーター種類逆送り	ディマー切替	ピーク値クリア	変更キャンセル		第3項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第3項目変更モード			メーター種類順送り	メーター種類逆送り	ディマー切替	ピーク値クリア	変更キャンセル		第4項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第4項目変更モード			メーター種類順送り	メーター種類逆送り	ディマー切替	ピーク値クリア	変更キャンセル		針メーター画面へ戻る		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
（2連デジタル）	ショートカット	ショートカット	再生開始	記録開始	ディマー切替	ピーク値クリア	デジタル表示メニューへ移動		第1項目変更モードへ移動			
再生モード	ショートカット	ショートカット	再生停止		ディマー切替	ピーク値クリア	デジタル表示メニューへ移動				再生速度変更及び巻き戻し/早送り	
記録モード	ショートカット	ショートカット		記録停止	ディマー切替	ピーク値クリア	デジタル表示メニューへ移動					
第1項目変更モード					ディマー切替	ピーク値クリア	変更キャンセル		第2項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第2項目変更モード					ディマー切替	ピーク値クリア	変更キャンセル		第1項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
（6連デジタル）	ショートカット	ショートカット	再生開始	記録開始	ディマー切替	ピーク値クリア	デジタル表示メニューへ移動		第1項目変更モードへ移動			
再生モード	ショートカット	ショートカット	再生停止		ディマー切替	ピーク値クリア	デジタル表示メニューへ移動				再生速度変更及び巻き戻し/早送り	
記録モード	ショートカット	ショートカット		記録停止	ディマー切替	ピーク値クリア	デジタル表示メニューへ移動					
第1項目変更モード					ディマー切替		変更キャンセル		第2項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第2項目変更モード					ディマー切替		変更キャンセル		第3項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第3項目変更モード					ディマー切替		変更キャンセル		第4項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第4項目変更モード					ディマー切替		変更キャンセル		第5項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第5項目変更モード					ディマー切替		変更キャンセル		第6項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る
第6項目変更モード					ディマー切替		変更キャンセル		第1項目変更モードへ移動		項目変更	10秒間操作がない場合には元に戻る

画面＼操作	UPスイッチ		DOWNスイッチ		LEFTスイッチ		RIGHTスイッチ		エンコーダースイッチ		エンコーダー回転	その他
	短押し	長押し	短押し	長押し	短押し	長押し	短押し	長押し	短押し	長押し		
（グラフメニュー）					ディマー切替		アイコンメニューへ戻る		グラフ表示項目決定		グラフ表示項目選択	
（リザルトグラフ）	ショートカット	ショートカット	メニュー非表示		ディマー切替	記録メモリクリア不可 ※MODE説明参照	グラフメニューへ戻る		記録メモリ変更モードへ		カーソル移動	
記録メモリ変更モード					ディマー切替		リザルトグラフへ戻る		変更項目決定 記録メモリ内容変更モードへ		変更項目選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
記録メモリ内容変更モード					ディマー切替		記録メモリ変更モードへ		変更内容決定 記録メモリ変更モードへ		変更内容選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
（プログレスグラフ）	ショートカット	ショートカット			ディマー切替		グラフメニューへ戻る					
（シャーシーダイナモ）	ショートカット	ショートカット	メニュー非表示		ディマー切替	記録メモリクリア	グラフメニューへ戻る		記録メモリ変更モードへ		カーソル移動	
記録メモリ変更モード					ディマー切替		シャーシーダイナモへ戻る		記録メモリ決定 記録単位変更モードへ		記録メモリ選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
記録単位変更モード					ディマー切替		記録メモリ変更モードへ		記録単位決定 記録スケール変更モードへ		記録単位選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
記録スケール変更モード					ディマー切替		表示単位変更モードへ		記録スケール決定 シャーシーダイナモへ戻る		記録スケール選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
（A/Fグラフ）	ショートカット	ショートカット	メニュー非表示		ディマー切替	記録メモリクリア	グラフメニューへ戻る		記録メモリ変更モードへ		カーソル移動	
記録メモリ変更モード					ディマー切替		A/Fグラフへ戻る		記録メモリ決定 記録ソース変更モードへ		記録メモリ選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
記録ソース変更モード					ディマー切替		記録メモリ変更モードへ		記録ソース決定 A/Fグラフへ戻る		記録ソース選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
（ブーストグラフ）	ショートカット	ショートカット	メニュー非表示		ディマー切替	記録メモリクリア	グラフメニューへ戻る		記録メモリ変更モードへ		カーソル移動	
記録メモリ変更モード					ディマー切替		ブーストグラフへ戻る		記録メモリ決定 記録スケール変更モードへ		記録メモリ選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
記録スケール変更モード					ディマー切替		記録メモリ変更モードへ		記録スケール決定 ブーストグラフへ戻る		記録スケール選択	10秒間操作がない場合には元に戻る
（キャリブレーション）					ディマー切替		アイコンメニューへ戻る		各キャリブレーションメニューへ		各キャリブレーションメニュー選択	
（ファンクション）					ディマー切替		アイコンメニューへ戻る		各ファンクションメニューへ		各ファンクションメニュー選択	

ー 初期設定 ー

アドバイス！

本項目は初期設定に関する全事項を記載しております。本製品の必要最低限の機能のみを使用する場合は、下記項目Ｎｏのみ実行してください。

①、⑳、㉔、㉕、㉘（1）～（4）　　※⑳、㉘ はＳＢＣのみ

①初期化方法

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→Ｒｅｓｅｔ→Ｅｘｅｃｕｔｅと操作してください。

アドバイス！

Ｒｅｓｅｔ以外にＡｌｌ　Ｐｅａｋ　Ｃｌｅａｒ（全ピーク値クリア）、
Ａｌｌ Ｇｒａｐｈ Ｍｅｍｏｒｙ　Ｃｌｅａｒ（全グラフメモリクリア）があります。

②Ｃｏｎｔｒａｓｔ（コントラスト）設定

液晶画面のコントラスト０～１００を設定します。ファンクションメニューで項目を選択すると調整用のチャート画面に切り替わります。設定方法はできるだけ白と黒の棒が判別できる数値を設定してください。表示が見えなくなってしまうのを回避するために２５以下及び７５以上は数値は変化しますが実際のコントラストは変更されません。

③Ｂａｃｋ　Ｌｉｇｈｔ（輝度）設定

０～１００でバックライトの明るさを設定してください。

④Ｄｉｍｍｅｒ（減光機能）設定

０～１００で減光した場合のバックライトの明るさを調整してください。

⑤ＬＣＤ　Ｄｉｒｅｃｔｉｏｎ（液晶画面の表示方向）設定

マルチアングル機能としてノーマル/リバース/バーティカルの３種類から選択してください。

アドバイス！

表示方向を変更すると、ＲＩＧＨＴ／ＬＥＦＴ／ＵＰ／ＤＯＷＮの４方向スイッチの役割は、画面の向きに従って自動的に切り替わります。

⑥ＬＣＤ　Ｏｆｆｓｅｔ（画面表示のオフセット）設定

ＬＣＤを縦置き（バーティカル）にした場合の画面のズレを修正します。

アドバイス！

画面構成は横置きモードを基準に製作しています。縦横比の関係から縦置きモードで使用すると画面の両端が若干切れてしまいます。通常最もよく使用する画面でオフセット値を設定してください。

⑦Ｐｅａｋ　Ｍａｒｋ（ピークマーク）設定

ニードルメーター画面にピークの青🔵を表示する/しないの設定です。

⑧Ｗａｒｎｉｎｇ　Ｍａｒｋ（ワーニングマーク）設定

ニードルメーター画面にワーニングの赤🔴を表示する/しないの設定です。

⑨表示単位設定

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→Ｓｙｓｔｅｍ　Ｏｆ　Ｕｎｉｔｓから表示単位を選択してください。

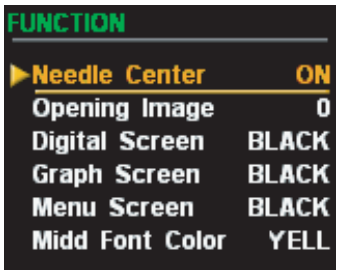
⑩馬力単位設定

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→Ｐｏｗｅｒ　Ｕｎｉｔから馬力単位（ＰＳ／ｋＷ）を選択してください。

アドバイス！

１（ｋＷ）　＝　１．３６（ＰＳ）

⑪Ｎｅｅｄｌｅ Ｃｅｎｔｅｒ（メーター針中心ボスの描画）設定
ＯＮで描画、ＯＦＦ描画しない。

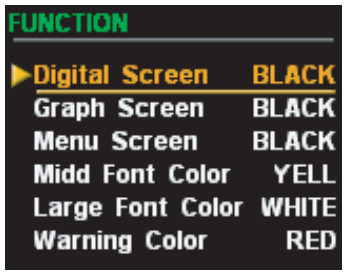


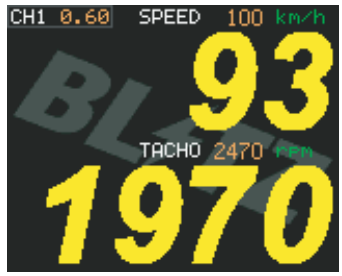
ボス有り

ボス無し

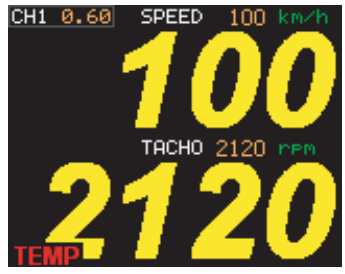
⑫Ｏｐｅｎｉｎｇ Ｉｍａｇｅ（起動画面）設定
設定したい画面の番号（０～２）を選択してください。

⑬Ｄｉｇｉｔａｌ Ｓｃｒｅｅｎ（デジタル背景画面）設定
設定したいデジタル画面のバックの壁紙を選択してください。

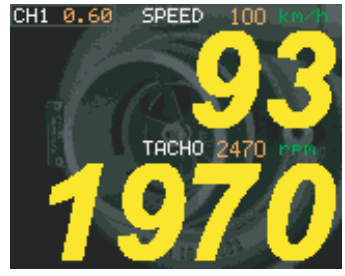




LOGO



BLACK

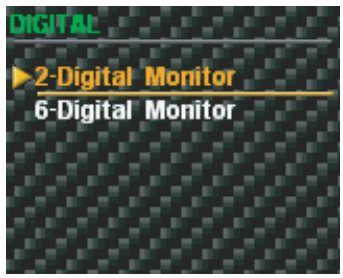


COMP

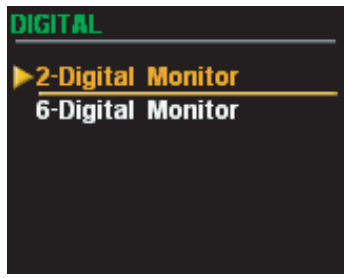
⑭Ｇｒａｐｈ Ｓｃｒｅｅｎ（グラフ背景画面）設定
設定したいグラフ画面のバックの壁紙を選択してください。

⑮Ｍｅｎｕ Ｓｃｒｅｅｎ（各モードメニュー項目背景画面）設定
各モードでのメニュー表示画面のバックの壁紙を選択してください。

LOGO



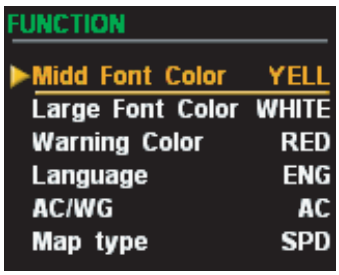
CARB

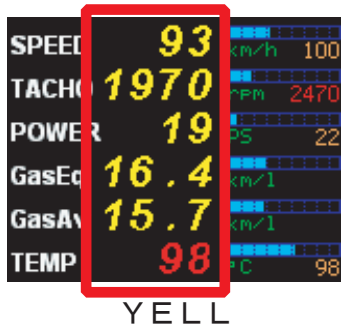


BLACK

COMP

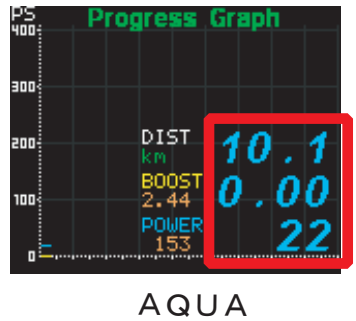
⑯Ｍｉｄｄ Ｆｏｎｔ Ｃｏｌｏｒ（中文字色）設定
６連デジタル/ニードルメーターで第２項目/グラフ画面等の文字色を、１０種類の中から選択してください。





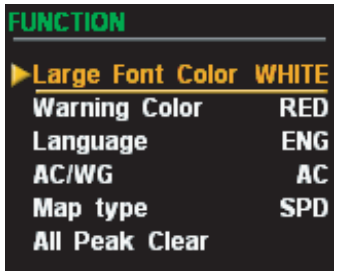
YELL

RED



AQUA

⑰Ｌａｒｇｅ Ｆｏｎｔ Ｃｏｌｏｒ（大文字色）設定
２連デジタル等の文字色を、１０種類の中から選択してください。

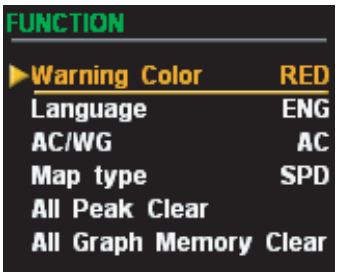


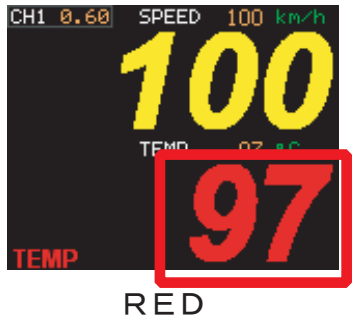
ＹＥＬＬ

ＧＲＥＥＮ

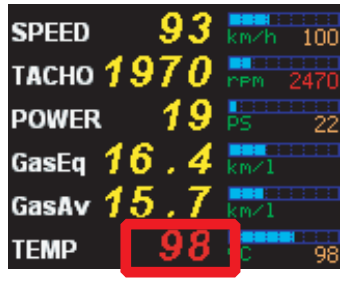
ＷＨＩＴＥ

⑱Ｗａｒｎｉｎｇ Ｃｏｌｏｒ（ワーニング時文字色）設定
ワーニング時のデジタル文字色及びピーク更新時の文字色を、１０種類の中から選択してください。

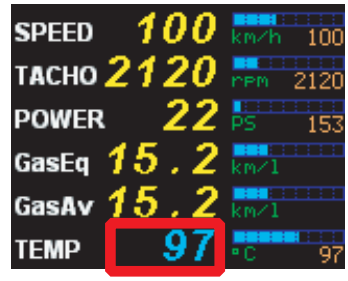




ＲＥＤ



ＲＥＤ



ＡＱＵＡ

⑲表示言語設定
ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→Ｌａｎｇｕａｇｅから表示言語（ＪＰＮ／ＥＮＧ）を選択してください。

⑳ターボチャージャーの排気バイパス方式の設定（ＳＢＣのみ）
ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→ＡＣ／ＷＧから排気バイパス方式を選択してください。
アクチュエーター方式の場合はＡＣを、ウエストゲート方式の場合はＷＧを選択してください。

アドバイス！
バイパス方式を間違えると、車両破損の恐れがあります。十分にご注意ください。

㉑ブースト制御マップの制御方式の設定（ＳＢＣのみ）
ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→Ｍａｐ　ｔｙｐｅから制御方式（ＳＰＤ／ＴＡＣ）を選択してください。
車速制御方式の場合はＳＰＤを、エンジン回転数制御方式の場合はＴＡＣを選択してください。

㉒ワーニング設定方法
ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＦｕｎｃｔ→Ｗａｒｎｉｎｇと操作してください。

（１）ワーニング設定する項目を選択してください。設定項目は、ＳＰＥＥＤ/ＴＡＣＨＯ/ＰＯＷＥＲ/ＴＥＭＰ（ＯＰ）/ＡＵＸ（ＯＰ）/ＢＯＯＳＴ/ＤＡＴＡ１～３（ＯＰ、ＳＢＣのみ）です。
（２）ワーニングのＯＮ/ＯＦＦを選択してください。
（３）ワーニングブザースイッチのＯＮ/ＯＦＦを選択してください。
（４）ワーニング値の監視方向（ＯＶＥＲ/ＵＮＤＥＲ）を選択してください。ただしＢＯＯＳＴの場合はＯＶＥＲ固定です。
（５）ワーニング設定値を入力してください。

㉓車速キャリブレーション

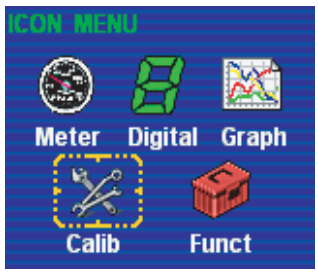
ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＣａｌｉｂ→Ｓｐｅｅｄ　Ｃａｌｉｂｒａｔｉｏｎを選択してください。
車両の車速パルスを２／４／８／１６から選択するか、もしくはカーソルがＫｅｅｐ４０ｋｍ/ｈ＆Ｅｎｔｅｒの時に、実際に走行していただき純正スピードメーターが４０ｋｍ/ｈを示すようにスピードを維持して、エンコーダーを押していただければ手動で車速キャリブレーションをすることができます。

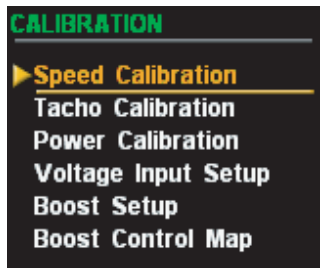
アドバイス！

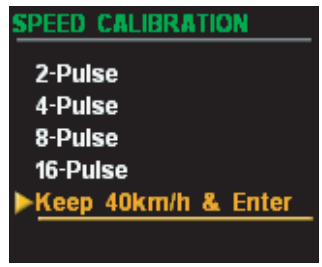
２／４／８／１６-Ｐｕｌｓｅは車両の車速パルスの種類を示しております。２／４／８／１６は６０ｋｍ/ｈ走行時の車速信号が６３７（ＪＩＳ基準）の何倍なのか？ということを示しております。
車両の車速パルスを設定しても、純正スピードメーターとの誤差が大きい場合は、手動でキャリブレーションをしてください。

アドバイス！

当画面で、例えば8-Ｐｕｌｓｅを選択後、ＩＧＮ-ＯＦＦしてから再度ＩＧＮ-ＯＮして当画面を表示させた場合、画面上のカーソルはデフォルトの位置になってますが、異常ではありません。







㉔回転キャリブレーション

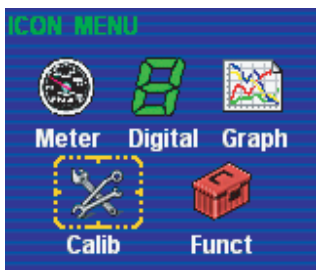
ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＣａｌｉｂ→Ｔａｃｈｏ　Ｃａｌｉｂｒａｔｉｏｎを選択してください。
車両のエンジン気筒数を１／２／３／４／６から選択するか、もしくはカーソルがＫｅｅｐ３０００ｒｐｍ&Ｅｎｔｅｒの時に、純正タコメーターが３０００ｒｐｍを示すようにエンジン回転数を維持して、エンコーダーを押していただければ手動で回転キャリブレーションをすることができます。

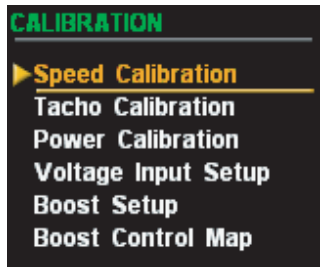
アドバイス！

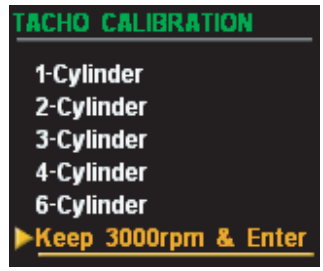
車両のエンジン気筒数を設定しても、純正タコメーターとの誤差が大きい場合は、手動でキャリブレーションをしてください。

アドバイス！

当画面で、例えば4-Ｃｙｌｉｎｄｅｒを選択して、ＩＧＮ-ＯＦＦしてから再度ＩＧＮ-ＯＮして当画面を表示させた場合、画面上のカーソルはデフォルトの位置になってますが、異常ではありません。







㉕パワーキャリブレーション

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＣａｌｉｂ→Ｐｏｗｅｒ　Ｃａｌｉｂｒａｔｉｏｎを選択してください。
車両重量／駆動方式／走行抵抗補正係数／ホイールスピン監視距離／エンジン熱効率を設定してください。

・車両重量（Ｗｅｉｇｈｔ）

車両重量（車検証記載）＋乗車人員合計体重＋ガソリン重量＋装備品重量の合計値を１００～４５００ｋｇの間で入力してください。実際の重量よりも少ないと馬力も少なく表示され、逆に多いと馬力も多く表示されます

・駆動方式（2WD/4WD）

車両の駆動方式を選択してください。ＢＮＲ３２などのトルクスプリットタイプの４WDの場合は、例外として2WDを選択してください。

・走行抵抗補正係数（Ｐｏｗｅｒ　Ｌｏｓｓ）

巻末の走行抵抗補正係数表をもとに係数を－１５～３４の間で設定してください。

・ホイールスピン監視距離（Ｗｈｅｅｌ　Ｓｐｉｎ）

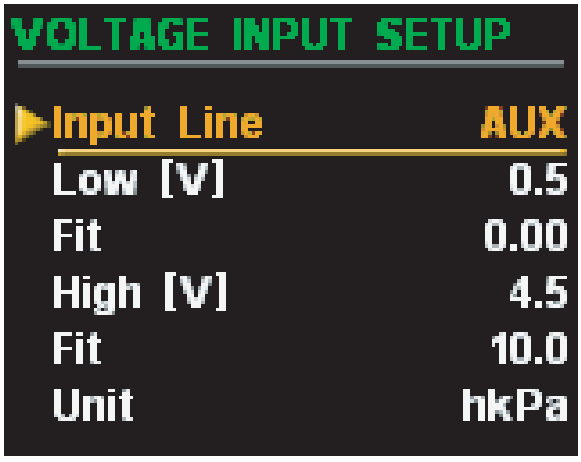
馬力の非計測距離の設定です。０スタート時のホイールスピンによる馬力の異常値を除外します。
０～５０mの間で設定してください。通常は０～１０m前後の設定をお勧めします。

・エンジン熱効率（Ｔｈｅｒｍａｌ　Ｅｆｆｉｃ）

エンジン熱効率を１０～６０%の間で設定してください。燃費表示に関係する係数です。
通常は、ディーゼル車２０%／その他３０%とすることをお勧めします。

㉖電圧入力設定

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＣａｌｉｂ→Ｖｏｌｔａｇｅ　Ｉｎｐｕｔ　Ｓｅｔｕｐを選択してください。
ＡＵＸ（ＰＲＥＳＳセンサー／A/FBOX　※オプション）、
ＤＡＴＡ１～３（外部電圧入力ハーネス　※オプション、ＳＢＣのみの機能）の入力設定をしてください。

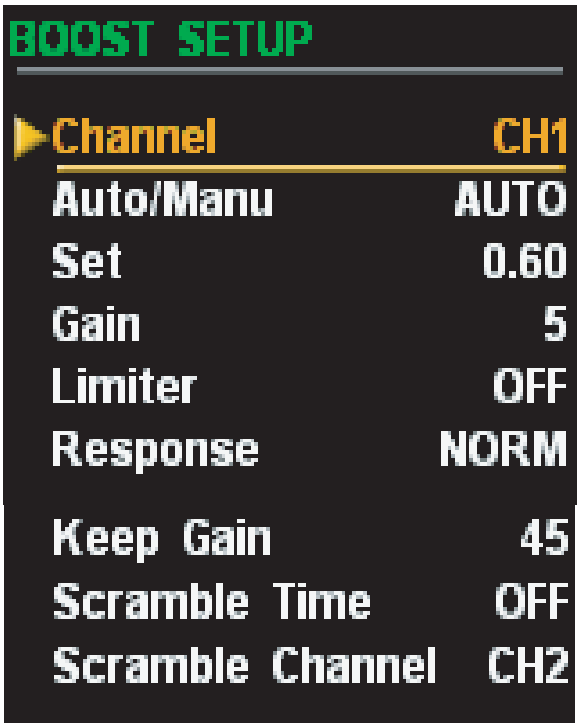


← 設定する入力ラインの選択（ＡＵＸ、ＤＡＴＡ１～３）
← 最低入力電圧設定（０～１６Ｖ）
← 最低入力電圧のメーター表示値設定（－９９９～９９９９）
← 最高入力電圧設定（０～１６Ｖ）
← 最高入力電圧のメーター表示値設定（－９９９～９９９９）
← 単位設定（最大５文字まで入力可能）

ＰＲＥＳＳセンサー入力設定例

㉗ブースト設定（ＳＢＣのみ）

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＣａｌｉｂ→Ｂｏｏｓｔ　Ｓｅｔｕｐを選択してください。



← （１）チャンネル選択（ＣＨ１～４/ＥＸＴ/ＭＡＰ/ＯＦＦ）

← （２）制御モード選択（ＡＵＴＯ/ＭＡＮＵ）

← （３）設定ブースト値の入力（０～２．４５ｈｋＰａ、１００）

← （４）ブーストの立ち上がり具合の設定（０～１００）

← （５）ブーストリミッターの設定（１～１００/ＯＦＦ）

← （６）ＡＵＴＯ時の学習後微調整（Ｒｅｓｐｏｎｓｅ）

← （７）ＡＵＴＯ時の学習後微調整（Ｋｅｅｐ　Ｇａｉｎ）

← （８）スクランブル制御時間の設定（１～９９/ＯＦＦ）

← （９）スクランブル制御時のチャンネル選択（ＣＨ１～４）

（１）チャンネル選択（ＣＨ１～４/ＥＸＴ/ＭＡＰ/ＯＦＦ）

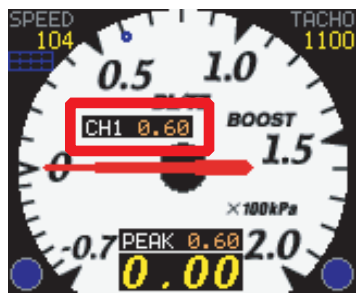
・ＣＨ１～４：チャンネルの切り替えにより、ブースト設定を４通り記憶することができます。
・ＥＸＴ　　：オプションのブーストマップアナライザーを使用する場合に選択します。
・ＭＡＰ　　：マップ制御する場合に選択します。
・ＯＦＦ　　：ブースト制御をＯＦＦにする場合に選択します。

（２）制御モード選択（ＡＵＴＯ/ＭＡＮＵ）

・ＡＵＴＯ：ブーストをオート制御する場合に選択します。ＡＵＴＯを選択し、ご希望の設定ブースト値を入力するだけで設定完了です。後は、ＳＢＣが自動でブースト制御値の学習を実行します。メーターもしくは、２連デジタルメーター画面上のＣＨマークが赤の時は学習中、白の時は学習終了を示します。

・ＭＡＮＵ：ブーストをマニュアル制御する場合に選択します。ＡＵＴＯとは違い、学習はおこないません。設定ブースト値が入力されると、即ブースト制御を開始致します。ただし、設定ブースト値は０～１００のポイント値を入力する必要があります。

学習中



学習終了

アドバイス！

（ＡＵＴＯモードに関して）

学習中でもブースト制御はおこないます。また、学習終了後もブースト補正は続けます。ＣＨマークが赤から白に変わるのは、初期の大幅な制御値を固定しただけなので、走行中にオーバーシュートなどにより設定値よりも大きくずれた値が入力された場合は、それに対して序々に補正を加えます。

さらに、本製品は極力オーバーシュートを抑えるようなプログラムになっているため、設定ブースト値よりも若干低めのブースト値で安定する場合がありますが、これは異常ではありません。

（3）設定ブースト値の入力（0～2．４５ｈｋＰａ、１００）

・ＡＵＴＯ時：0～2．４５ｈｋＰａの範囲で、設定ブースト値を入力してください。

（単位換算表）

hkPa	kg/cm^2	bar	atm	mmHg	psi
1	1.02	1	0.987	750	14.5

・ＭＡＮＵ時：設定ブースト値は0～１００のポイント値を入力してください。
ポイント0でブースト制御最小、ポイント１００で車両のターボ系の限界まで
ブーストが上昇します。

アドバイス！
ノーマル車両での一般的な目安としては、ポイント４０～５０の間でブースト１．０ｈｋＰａになりますが、車両の仕様により変動するので、必ず低めのポイントを設定し、確認しながら序々に設定値を上げていくようにしてください。なお、（ＳＢＣブースト制御ＯＦＦ＝ノーマルブースト制御）ではありません。また、（ＳＥＴ″0″＝ＳＢＣブースト制御ＯＦＦ）でもありませんのでご注意ください。

アドバイス！
”設定したポイントが実際のブーストで何ｈｋＰａなのか？”は車両により異なりますので、一概には記載できません。そこで、一つの方法としてＡＵＴＯ制御で学習が終了しているＣＨをＡＵＴＯからＭＡＮＵに変更すると、ＭＡＮＵ時の設定ブースト値（ポイント値）が自動で表示されます。
ただし、そのＣＨはＡＵＴＯ時の学習内容がリセットされますのでご注意ください。

（4）ブーストの立ち上がり具合の設定（0～１００）

ブーストの立ち上がり具合（ゲイン）を0～１００で設定してください。数字を大きくすればブーストが早く立ち上がり、小さくすれば遅くできます。ノーマル車両での一般的な目安としては、１５～２５が推奨値です。

アドバイス！
シーケンシャルターボや小型のボールベアリングターボでレスポンスの良いターボを装着していて、オーバーシュートが激しい場合は、５～１５の間で再度調整してください。逆に、オーバーシュートを利用した、立ち上がりのスピード重視のセッティングの場合は２５～で設定してください。

（5）ブーストリミッターの設定（1～１００/ＯＦＦ）

設定値は（3）のＭＡＮＵ時と同様で、１～１００のポイント値（ノーマルブーストに対する割合）を入力してください。また、ブーストリミッター機能を使用する場合は、ブースト表示に関してのワーニング設定をする必要があります。ワーニングの設定方法に関しては、”⑧ワーニング設定方法”をご覧ください。

（設定例）	オーバーシュート防止
制御モード	ＡＵＴＯ
設定ブースト値	１．００（学習済でＭＡＮＵ時のポイントは５０と同等とする）
ワーニング設定	ＢＳＴ/１．０５（ブースト１．０５ｈｋＰａ時にワーニング警告及びリミッターを作動させる）
リミッター設定	５０（リミッター作動時に５０＝１．００ｈｋＰａまで下げる）

（6）（7）ＡＵＴＯ時の学習後微調整（Ｒｅｓｐｏｎｓｅ/Ｋｅｅｐ　Ｇａｉｎ）

デフォルト状態では、設定項目が非表示になっております。ＤＯＷＮスイッチを５秒間長押しすると、表示されます。ＡＵＴＯモード時、レスポンスの良いターボシステム装着車で、学習終了後もオーバーシュート気味のブースト特性になる車両の場合にのみ、Ｒｅｓｐｏｎｓｅ/Ｋｅｅｐ　Ｇａｉｎそれぞれの設定操作をおこなってください。

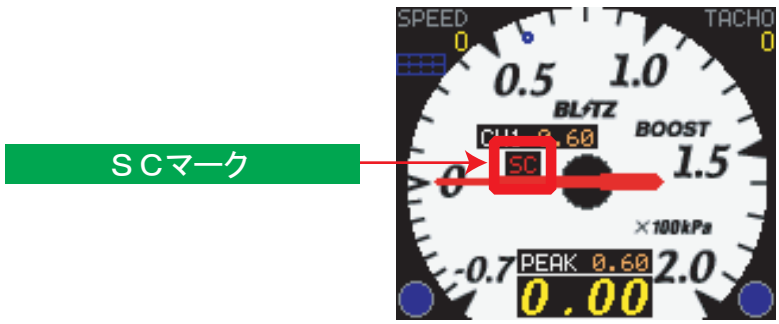
ＲｅｓｐｏｎｓｅはＮＯＲＭ/ＭＩＬＤ/ＳＬＯＷの中から選択し、Ｋｅｅｐ　Ｇａｉｎは０～１００の範囲で設定してください。

ＮＯＲＭ	デフォルト状態です。最もブーストの立ち上がりが早いです。
ＭＩＬＤ	ＮＯＲＭよりはブーストの立ち上がりが遅いです。
ＳＬＯＷ	最もブーストの立ち上がりが遅いです。
Ｋｅｅｐ　Ｇａｉｎ（０～１００）	数値が大きくなるほど、ブーストが立ち上がってからの”ブーストのたれ”を抑制する傾向がありますが、同時にハンチングが発生しやすくなります。

（8）（9）スクランブル制御設定

スクランブル制御する場合にのみ設定操作をおこなってください。スクランブル制御時間は（１～９９秒）スクランブ制御時の作動チャンネルはＣＨ１～４から選択してください。ただし、選択したＣＨがＡＵＴＯ制御の場合、学習が終了していることが前提になり、さらに通常制御チャンネル及びスクランブルチャンネルのブースト設定値が０．３５ｈｋｐａ以上であることが前提になります。

スクランブル制御設定をしている場合は、針メーター画面に常時”ＳＣ”マークが表示されます。



アドバイス！

（設定例）通常制御チャンネル（ＣＨ１）、スクランブル時間（５秒）、スクランブルチャンネル（ＣＨ２）

→スタート後、ブースト０から立ち上がりの最初の５秒間はＣＨ２で制御され、その後ＣＨ１で制御します。この制御は、スクランブル制御時間をＯＦＦにしない限り、ブースト０以下になれば毎回繰り返します。

㉘ブーストコントロールマップ設定（ＳＢＣのみ）

ブーストをマップ制御する場合のみ、設定操作をおこなってください。

事前に以下の設定を必ずおこなってください。

（１）⑦ブースト制御マップの制御方式（車速マップ／回転数マップ）の設定

（２）⑫ブースト設定のチャンネルをＭＡＰに設定してください。

ＩＣＯＮ　ＭＥＮＵのＣａｌｉｂ→Ｂｏｏｓｔ　Ｃｏｎｔｒｏｌ　Ｍａｐを選択してください。

（１）エンコーダーを押して、設定モードにしてください。
（２）エンコーダーをまわして、設定したい車速/回転数の位置に移動してください。
（３）エンコーダーを押して決定してください。
（４）エンコーダーを回してその時の制御チャンネルをＣＨ１～４から選択してください。
（５）エンコーダーを押して決定してください。以降（２）～（５）の繰り返して、全域の設定をしてください。
（６）ＲＩＧＨＴスイッチを押して制御モードへ移行してください。

ー 走行抵抗補正係数 ー

種別	車種	補正係数
軽自動車	カプチーノ・ミラ・アルト・ＡＺワゴン	－2
１０００ｃｃ以下のミニバン	ムーブ・ワゴンＲ・バモス・ライフ トッポＢＪ・タント	－1
１０００～１６００ｃｃのＮＡ車	ティーダ・マーチ・キューブ・パルサー レビン・カローラセレス・カローラＦＸ フィット・シビック・ＣＲ－Ｘ・インテグラ ユーノスロードスター・ミラージュ	－2
１６００ｃｃ以上のターボ車 ３０００ｃｃ以下のスポーツ車	ソアラ・アリスト・マークⅡ・マークＸ ７０スープラ・ＭＲ２・セリカ・カレン ＭＲＳ・アルテッツァ・スカイライン シルビア・１８０ＳＸ・ローレル セフィーロ・ブルーバード・フェアレディＺ ＧＴＯ・ＦＴＯ・ランサー・エクリプス ギャラン・ＮＳＸ・Ｓ２０００ ユーノスコスモ・ＲＸ-７・ＲＸ-８ ファミリア・インプレッサ・ジェミニ ＩＳ・ＳＣ	0
セダン系	セルシオ・クラウン・カリーナ・コロナ カローラ・カムリ・ウィンダム・シーマ セドリック・レパード・ローレル プリメーラ・ブルーバード・ランサー ディアマンテ・ギャラン・レジェンド インスパイヤー・アコード・レガシー スターレット・ＬＳ・ＧＳ	2
ステーションワゴン系	カルディナ・ｂＢ・ファンカーゴ セフィーロ・ステージア・プリメーラ アベニール・ウィングロード・レグナム リベロ・アコード・カペラ・レガシー インプレッサ・フォレスター	2
ミニバン系	アイシス・エスティマ・タウンエースノア イプサム・スパシオ・ガイア・ナディア ＲＡＶ４・エクストレイル・プレサージュ バサラ・セレナ・リバティー・ティーノ ＭＰＶ・ＲＶＲ・シャリオグランディス プレマシー・オデッセイ・ステップワゴン ＳＭ-Ｘ・ＨＲ-Ｖ・ストリーム	3
ＳＵＶ系	アルファード・グランビア・ハリアー グランドハイエース・エルグランド	5
ＲＶ系	ランドクルーザー・ハイラックス パジェロ・ビックホーン	8
その他	８０スープラ	－５
	ヴィッツ	－６

※補正係数値はノーマル車両を基準に算出していますので、空力パーツ（エアロ）等により大幅に空気抵抗が異なっている車両や、ウイングなどで極端にダウンフォースを発生させている車両は、必ずしも上記ボディータイプで選択できない場合があります。その場合は、排気量やボディー形状の同様な車種を表中より探し、その車両の補正係数を入力してください

ー 故障と思う前に ー

本製品が正常に動作しない場合には、下記を参考に再度症状の確認と不具合の修復を試みてください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない	電源線が接続されていない エレクトロタップの接触不良 アース線の不良 コネクタがしっかりとささっていない	＋１２Ｖをテスター等で再確認 接続箇所をテスターで再確認 接続場所の塗装や錆を除去 コネクタをさしなおす
ブースト制御不能	ＡＣ／ＷＧの選択間違い バルブ配管がＩＮ／ＯＵＴ逆 ホースの抜けや割れによる圧漏れ フィードバック圧が入力されていない ソレノイド駆動電圧不足	ファンクションメニューにて再設定 バルブ配管を確認し、正規の状態に戻す 確実に固定する、またはホースを交換する ＣＰＵユニットへサージタンク圧を入力する ＩＧＮ-ＯＮから通常走行時でもしっかりと＋１２Ｖかかる場所から再度電源を取り直す
ブーストが設定値まで上がらない ブーストが不安定	オートでの学習特性	ブーストセットアップメニューでオートの学習方法を変更してみる
	タービンの限界（容量不足） エンジン効率の限界（ターボとの相性） アクチュエータの特性 ウエストゲートのストローク不足 ウエストゲートの容量不足	ハード的な要因が強い場合はコントローラーでの制御では不可能です。取り付け前の車両の特性を考慮して、調整可能な範囲において再度設定を行う
	ツインターボの場合、片側のみしか動作していない、もしくはプライマリセカンダリの片側のみの動作	純正ソレノイドの機能が生きている場合は機能を殺してみる 再度配管を見直す
	リミッタ機能が働いている スクランブル機能が働いている ゲインの上げ過ぎ	リミッタ機能をＯＦＦにする スクランブル機能をＯＦＦにする ゲインを下げて学習を行う、マニュアル制御の場合はゲインを下げて走行してみる
ワーニングがいつも働く	設定値が低すぎる オーバーシュートで発生する ブースト以外のソースで発生している	設定値をブースト設定よりも高くする ゲインを低く設定する、もしくはワーニングのポイントを多少高く設定する 各ソースの設定を見直す、もしくはＯＦＦにする
車速表示がおかしい	パルスが上手く入力できていない	４０ｋｍ／ｈで強制的にキャリブレーションする 配線図を再度確認する 適合外車両の場合がある
回転数表示がおかしい	パルスが上手く入力できていない	３０００ｒｐｍで強制的にキャリブレーションする 配線図を再度確認する 適合外車両の場合がある
パワーが異常値を表示	車重などデータ入力間違い ＩＧＮパルスなどノイズがのっている ホイールスピンなど一時的な車速異常	再度入力データの確認 アースの場所の変更、配線の場所の変更 ホイルスピン監視距離を入力する
センサデータが表示しない もしくは表示がおかしい	データＦＩＴ値が適切ではない	センサーに応じた適切なＦＩＴ値を入力する
ボタン操作がきかない	デモモード中	ＤＯＷＮボタンを押しながらＩＧＮ-ＯＮする

— MEMO —

ー お問い合せ先 ー

■製品についてのお問い合せ先

連絡先	株式会社 ブリッツ　サポートセンター
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6
ＴＥＬ	0422-60-2277
ＦＡＸ	0422-60-0066
ＵＲＬ	http://www.blitz.co.jp

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒202-0023 東京都西東京市新町4-7-6

BLITZ

"BLITZ" —the abiility to innovate the motor vehicle boundaries.
Established in 1980,"BLITZ" has revolutionized the automotive industry